

**2021年度  
日本語・日本文化研修留学生**

---

---

**研究レポート集 XIX**

**2022年9月  
三重大学 国際交流センター**

---

---

## ❀目次❀

2021年度 日本語・日本文化研修留学生 名簿	1
◆日越翻訳における受動文の訳し方 チュオン・ティ・ミン・トゥー (大学)	2
◆日本人学生とインドネシア人日本語学習者の日本語の「ガ・ケド」の使用実態 シャブリナ・ヌルサフィヤ・ファリッド (大学)	15
◆タイ人日本語学習者の謙譲語の習得 —タイ人日本語学習者と日本人を対象に— アドハン チッタブン (大学)	26
◆バーチャルライバーの発展についての研究 —にじさんじを例として— エン シンエツ (大学)	44
◆ブラジル人学習者による日本語授受表現の使用 サカモト アマンダ アケミ (大学)	53
2021年度 Zoomでの研究成果最終発表会 修了式の風景	62
2021年度 日本語・日本文化研修留学生プログラムの概要	64
編集後記	67

2021年度 日本語・日本文化研修留学生 名簿

(2021年10月～2022年8月)

氏名	国籍 (母国の所属大学)	性別	専門領域	指導教員
チュオン ティ ミントウー TRUONG THI MINH THU	ベトナム (ホーチミン市師範大学)	女	日本語	松岡 知津子 (国際交流センター・准教授)
シャブリナ ヌルサフィヤ ファリッド SHABRINA NURSAFIYA FARID	インドネシア (パジャジャラン大学)	女	日本語	正路 真一 (国際交流センター・助教)
アドハン チッタブン ARDHARN JITABOON	タイ (チェンマイ大学)	男	日本語	福岡 昌子 (国際交流センター・教授)
エン シンエツ YUAN XINYUE	中国 (上海海洋大学)	女	日本語	松岡 知津子 (国際交流センター・准教授)
サカモト アマンダ アケミ SAKAMOTO AMANDA AKEMI	ブラジル (パラナ連邦大学)	女	日本語	正路 真一 (国際交流センター・助教)

(学籍番号順)



シャブリナさん エンさん ミントウさん アマンダさん チッタブンさん

## 日越翻訳における受動文の訳し方

R21201

チュオン・ティ・ミン・トゥー

### How To Translate Japanese Passive Voice Into Vietnamese

R21201

Truong Thi Minh Thu

キーワード：日越翻訳、受動文、直訳、等価翻訳

#### 1. はじめに

近年、日本語を学習しているベトナム人は増加の一途をたどっており、日本語学習者の数は世界第6位となっている（フォン 2018）。それに伴い、上級日本語に達している学習者も珍しくない。しかし、日本語が上達しても、なかなかうまく翻訳ができない人も少なくない。その理由は、翻訳・通訳にはまた異なるスキルを必要とするからである。

ところで、翻訳・通訳は両言語をつなぐことを指すが、それぞれの標準は異なる。翻訳は主に文章や作品を訳すことが多いが、通訳は現場でその場で訳すことが多く、通訳の際には、その場で考える時間があまりないこともあるため、ことば遣いに小さな間違いがあっても、全体的な意味を守っていれば問題にならないこともある。しかし、翻訳では、すべての意味や感情を細かく伝えることが求められることが多い。本研究では、翻訳を研究対象とする。

上述したように、翻訳は文の適切さを厳守していることから、どのように訳すかという問題が重要な課題になる。ベトナム語と対応する日本語の文法はあるが、どのような場合でもそのまま訳せるわけではない。例えば以下のような受動文はベトナム人日本語学習者にとって問題となりうる。

(1) 太郎は次郎に息子を叱られた。（レー 2020）

上記の文をベトナム語にそのまま訳す場合、論理的意味は理解できるものの、自然なベトナム語とは言えない。また、「息子」は太郎または次郎、だれの子どもを理解する人は少ないと思う。さらに、この受動文の意味を理解してもどう翻訳すればいいか迷っている人がいるかもしれない。なぜなら、ベトナム語に対応するこの文は存在していないからだ。

(2) 太郎は奥さんに離婚された。（リュウ 2018）

上記の文は、自動詞「離婚する」を使った受動文であるが、ベトナム語には自動詞の受動文が存在しないため、ベトナム人日本語学習者はどのように訳せばよいか戸惑うことが少なくない。このような受動文については、以下のような考え方があ

(ア) 日本語の受動文の構文通りに翻訳すべきである。

(イ) 自然さのほうがより重要であるから、意味を守って能動文に翻訳すべきである。

様々な意見がある中で、どちらのほうが合理的であるのか、いまだに結論が出ていないことから、ベトナム人日本語学習者は日本語の受動文が上手く訳せない。以上の理由から

構文と意味に着目し、日本語の受動文、特に間接受動文とベトナム語の受動文を対照し、適切に翻訳できるようにどのようなポイントに注意を払うかを考えていきたい。

## 2. 先行研究

### 2.1. 日本語の受動文の研究

欧米の受動文の影響以前、日本語の受動文は主に被害・迷惑の意を表していた（山下 1997）。以下の例を参照されたい。

(3) 母に日記を読まれた。

日記を読まれたということは明らかに迷惑の意味を含む。また、その感情以外に、現在の受動文には中立性や恩恵の意を持つ文も報告されている（田中・館岡 1992）。

(4) 私は先生に褒められた。

上記の文にはマイナスの意味は全く含まれていないことが分かる。

また、構文面から見ると、日本語の受動文は主に二つの種類に分けられる。直接受動文と間接受動文である（田中・館岡 1992）。直接受動文とは能動文の目的語を主語とするが、間接受動文とは受動文の主語と対応する目的語を能動文に求めることができない。田中・館岡（1992）は以下のように述べた。

(5) 能動文：彼が コーヒーを 飲んだ。(A が B を V)

受動文：コーヒーは (彼に) 飲まれた。(B は A に V られる)

上記の受動文は対応する能動文があることがわかる。また、動作主は省略しても構わない。それらの特徴があれば、この受動文は直接受動文に属すると言える。一方、間接受動文を詳しく分けると、持ち主の受動文と自動詞の受動文がある。以下の例を参照されたい。

(6) 能動文：女の人が 私の足を 踏んだ。(A が B のものを V)

受動文：(私は) 女の人に 足を 踏まれた。(B は A に ものを V られる)

この場合、対応する能動文は存在しているが、受動文にすることは容易ではない。また、能動文の目的語（私の足）は受動文の主語（私）になることができない。

(7) 帰りに雨に降られた。

(7) のような文は対応する能動文がないと言われている。このように、(6) と (7) の例を観察すると、間接受動文を能動文にするのは容易ではない。さらに、能動文の目的語は受動文の主語と異なると言える。

### 2.2. ベトナム語の受動文の研究

ベトナム語の受動文は受け身の意を表す表現が多いが、一般的には「bị (被)」と「được (得)」が多く用いられる（リ 2017）。つまり、「bị (被)」と「được (得)」によってベトナム語の受動文を主に二つのタイプに分けられる。

(8) Tôi bị ba la. (私は父に叱られた)

(9) Tôi được mẹ khen. (私は母に褒められた)

(8) は、明らかに被害の意味があるが、一方、(9) は、被害の意味はない。また、一般的な受動文は「bị (被)」の後ろには被害・迷惑の意味を含むことばが来るが、「được (得)」の後ろには中立性・恩恵の意味を含むことばがくる。

上述のように、ベトナム語の受動文に「bị (被)」はよく用いられるが、「bị (被)」がある文は受動文であるわけではない。なぜなら、「bị (被)」の後ろに来る動詞の種類によっては能動文になる場合もあるからだ (ラン 2013)。

(10) Tôi bị mệt. (私は疲れた)

確かに、上記の文には「bị (被)」があるが、この文は受動文と言えない。(8) 文の動詞は他動詞 (叱る) だが、(10) 文は自動詞である「mệt (疲れる)」である。その自動詞は「bị (被)」の後ろに来ると、受け身の意味は全く含まれていない。したがって、ベトナム語では自動詞の受動文は存在していないと言える。

このように両言語ともに迷惑・被害、および中立や恩恵の意を持つ受動文が存在するが、本研究では「bị (被)」受動文に焦点を当てることとする。なぜなら、日越両言語の受動文についての対照研究では、「bị (被)」受動文との対応関係が中心であったが、うまく対応しない場合についてはあまり触れられていないからである。また、ベトナム語に「bị (被) + 自動詞」という形は能動文であるから自動詞の受動文は存在していないと言える。一方、日本語には自動詞の受動文は存在している。その違いから、本研究では、日本語の間接受動文とベトナム語の「bị (被)」受動文について考えていきたい。

### 2.3. 先行研究における問題

先行研究では、日本語の受動文の訳し方に触れたが、ベトナム語で訳された文が自然であるかという結論が出ておらず、また、矛盾も見られる。以下を参照されたい。

(11) a. 太郎は次郎に 携帯 を壊された。(レー 2020)

b. Taro bị Jiro làm hỏng điện thoại.

太郎 PASS 次郎 壊す 携帯

持ち主の受動文において目的語がものである場合、所有物の受動文と呼ばれている。レーは、(11) のような所有物の受動文をそのまま訳す場合には問題がないと述べた。しかし、ラン(2013)によると、ベトナム語の受動文の主語は能動文の目的語であるとのことである。つまり、ベトナム語として自然な文は「太郎の携帯は次郎に壊された」になるという。そのため、レーの調査結果はランの主張と異なる。

(12) a. 太郎は次郎に 姉 を嫌われている。(レー 2020)

b. Taro bị Jiro ghét chị gái.

太郎 PASS 次郎 嫌う 姉

この日本語受動文をそのまま訳すと、ベトナム語ではわかりにくい。なぜなら、この文の目的語はものではなく人間であるため、「姉」がだれの姉か迷う人がある。このように、直訳せずにどう翻訳すればいいかという問題に触れられていない。

以上のように述べたが、ベトナム語には自動詞の受動文が存在しないので、自動詞の受動文の訳すことに問題がある。訳された文が自然かという問題のほかに調査対象者は自動詞の受動文を理解するかが注目される。リュウ(2018)は日本語の自動詞受動文に対応するベトナム語の受動文はベトナム語では実際に言うのかについて調査した。その結果は以下のようになる。

例文	自然	どちらか という 不自然	不 自然	直した文 (人数)
太郎は奥さんに死なれた。 Taro bị chết vợ.	0	2	11	太郎の奥さんは死んだ。(13)
太郎は花子に離婚された。 Taro đột nhiên bị Hanako li hôn.	2	5	2	花子は突然太郎と離婚した。(4) 花子は太郎と離婚した。(3) 太郎と花子は離婚した。(1)
太郎は突然花子に来られた。 Taro đột nhiên bị Hanako tới nhà.	3	6	3	花子は突然太郎の家に来た。(5) 「được」構文に直した。(5)
花子は太郎に逃げられた。 Hanako bị Taro chuồn mất.	1	1	11	太郎は花子から逃げた。(4) 太郎はに花子から消えてきた。(1) 花子は太郎に逃げさせた。(放任) 意味が分からないので、直せない。(5)
昨日先生に来られた。 Tôi qua tôi được thầy giáo tới nhà.	9	2	0	昨日、先生はうちに来た。(2)

表 1. 日本語の自動詞受動文の翻訳

表 1 を見ると、訳されたベトナム語の文は自然かについて大半は「不自然」であると答えた。一方、「自然」であると答えた文は「昨日先生に来られた」のみである。しかし、日本語文の「来られた」は迷惑の意味があるため、ベトナム語の文に恩恵の意味を表す「được (得)」を用いると、日本語のニュアンスとは全く異なってしまふ。また、意味が理解できていない人もいる。要するに、自動詞の受動文の理解度は高くないと言える。さらに、不自然な文だと思っている人の直した文は主に能動文となっている。このように、ベトナム人には、自動詞の受動文が受け入れられていないことが考えられる。

### 3. 訳す際の問題

日本語の受動文をそのままベトナム語に訳すと、ベトナム語として不自然になる場合がある。以下の例を参照されたい。

(11) 太郎は次郎に息子を叱られた。(レー 2020)

そのままベトナム語に直訳しても、ベトナム人は文の意味が理解できるものの、自然なベトナム語とは言えない。その理由は、息子と太郎の関係はどうか、また誰が直接影響を受けるかわかりにくいからである。そのため、「太郎の息子は次郎に叱られた」と翻訳すれば、自然なベトナム語となり、理解されやすい。

(12) 太郎は奥さんに離婚された。(リュウ 2018)

はじめにも述べた通り、「離婚する」は自動詞であり、対応する能動文のないベトナム語ではこのような受動文が存在しない。そのため、直訳すれば、ベトナム人は文の意味が理解できない。リュウはアンケートを行い、どのように翻訳すべきかを調査した。その結果、能動文に翻訳したほうが良いという回答が多かった。

その他、受動文の被害の意を表すために、言葉を加えるという方法も考えられるだろう。例えば「一方的に」という言葉を追加して「奥さんは一方的に太郎と離婚した」とすることで、被害の意味が追加できるだろう。

### 4. 翻訳等価の概念

以前は、適切な訳し方は「1対1」であるべきだと考えられていた。この訳し方は「直訳」

と同様である。そのため、文章を訳すとき、翻訳者は事典で言葉の意味を調べ、訳すのが一般的であった（グエン・ホン・コン 2001）。すなわち、言葉の意味を中心として訳すことである。しかし、例えば、「口が軽い」のような慣用表現をベトナム語に直訳してしまうと「優しいことを言う」となり、意味が通じなくなる。

このような訳し方の問題点を解決するために「翻訳等価」という概念が出てきた。グエン・ホン・コン（2001）によると、翻訳等価とは翻訳された文が適切であるかを判断する科学的な基準であるという。訳した文が適切かを評価するために、4つの評価点を基にする。

【1】音声的等価：音韻の構成、アクセント

例：国家（こっか）→ quốc gia（コック・ジャ）

【2】文法的等価：品詞、語順、文の種類

例：私は 父に 叱られた。  
(Tôi) (ba) (bị...mắng)

→ Tôi bị ba mắng

日本語の受動文 → ベトナム語の受動文

【3】意味的等価：表現によって言葉の意味が異なる。また、比喩的な意味と言葉の意味。

例：犬猿の仲 → quan hệ như chó với mèo（犬猫の仲）

【4】誤用的等価：コミュニケーションの場面によって適切な表現が異なる。

例：田中さん → anh（男性） Tanaka・chị（女性） Tanaka

上記の中の一つでも該当すれば、翻訳等価ということができるという。といっても、よく使われる翻訳等価は二つの評価点以上に該当する。また、意味的等価と語用的等価のいずれかがあるべきである。つまり、どのような等価を応用しても、必ず文の意味を守るべきである。ただし言語においては絶対的な言い方はなく、翻訳者の意思によって訳した文のことばや語順は異なるかもしれない。そのため、本研究では訳した文を客観的に分析するために、言葉遣いや訳し方がいかによくないかについては言及せずに文の意味が理解できるか、翻訳等価が応用できるかを中心として分析する。

## 5. 調査方法

以上のように、先行研究を概観し、日本語の間接受動文の訳し方には問題があることが分かった。そこで、本研究では、再度先行研究の間接受動文を調査したい。調査は google form を用いて行った。調査期間は 2022 年 6 月 11 日から 19 日までであった。調査対象は、ベトナム人日本語学習者 15 名で、日本語の文をベトナム語に訳した後、自分の訳し方について解説するというものであった。調査には、ディストラクタ課題として敬語やことわざなどの文も入れた。調査内容は以下のとおりである。

- ① 調査対象者の日本語能力および学習機関の確認
- ② 調査対象者の翻訳等価への理解
- ③ 日本語の文（特に間接受動文）の 30 文の理解

日本語の文を訳す部分は図 1 のように行った。調査対象者の訳された文についての説明は日本語の受動文が理解できるかどうか判断することに役立つと考えた。また、使った翻訳方法の結果から調査対象者が翻訳分野の知識を十分に身につけているかがわかる。

図1. 本研究における調査の構成

①太郎は次郎に携帯を壊された。
ア. ベトナム語への翻訳 (自分の答え)
イ. ベトナム語での説明 (自分の答え)
ウ. 以下の翻訳方法の中に、どちらを使いますか？ <input type="checkbox"/> 音声的等価 (phonetic equivalent) <input type="checkbox"/> 文法的等価 (grammatic equivalent) <input type="checkbox"/> 意味的等価 (semantic equivalent) <input type="checkbox"/> 語用的等価 (pragmatics equivalent) <input type="checkbox"/> 経験 <input type="checkbox"/> 自分の判断 <input type="checkbox"/> ほか：

## 6. 調査結果

### 6.1. 参加者の日本語レベル

図2. 学習期間

■2年以下 ■2年間～3年間 ■3年間～4年間 ■4年以上

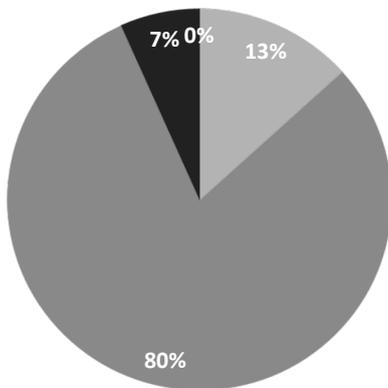


図3. 日本語能力

■N1 ■N2 ■N3 ■JLPTを受けていない

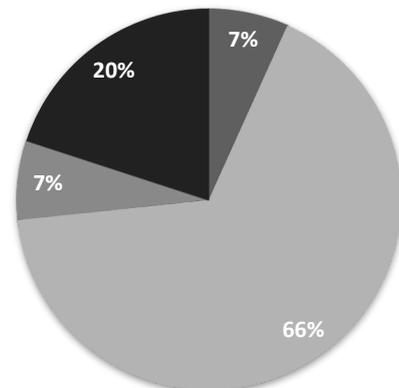


図4. 学習機関

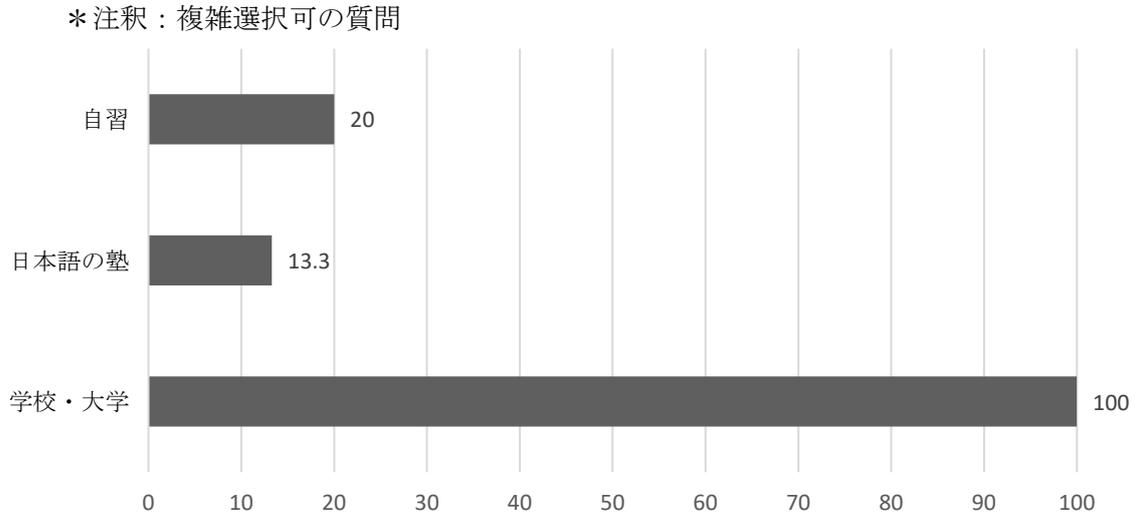


図2と図3から見ると、調査対象者の8割が3~4年間日本語を勉強しており、大多数の人がN2以上であったことがわかった。つまりN3レベルで学ぶ受動文は学習済みということである。また、調査対象者の全員は学校・大学で専門的に日本語を学習していたこともわかった。このように、調査対象者は日本語の能力が高いと言える。

## 6.2. 参加者の翻訳等価への理解

図5. 「翻訳等価」を聞いたことがあるか

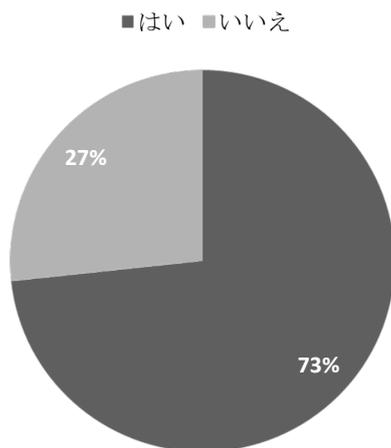
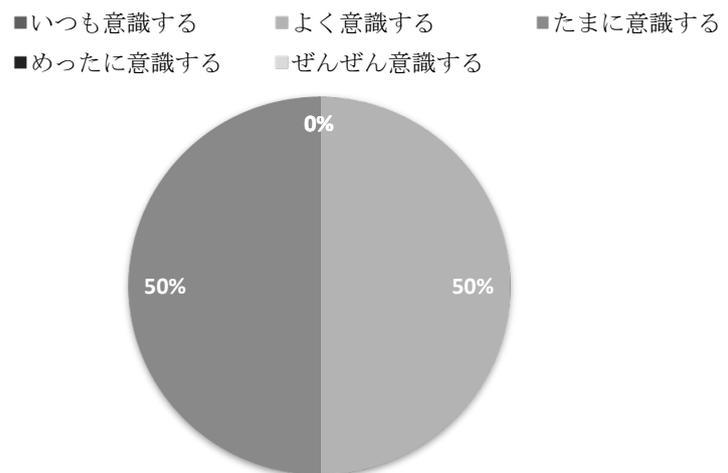


図6. 「翻訳等価」を聞いた人はよく意識しているか



調査結果から、翻訳等価を知らない人が大半であることが明らかになった。このデータから、日本語学習者は翻訳等価、つまり翻訳分野についての理解度が低いことがわかる。ただし、翻訳等価を知っている人は、できるだけ等価に翻訳することを意識しているということがわかった。翻訳分野に適切に触れるチャンスが少ないが、調査対象者は翻訳

の目的がわかると言える。

### 6.3 間接受動文の理解

#### 6.3.1. 持ち主の受動文（所有物）

間接受動文	ベトナム語訳を日本語に直訳したもの（人数）	翻訳方法（人数） *複数選択可
①太郎は次郎に携帯を壊された。	<ul style="list-style-type: none"> <li>次郎は太郎の携帯を壊した。(3人)</li> <li>太郎の携帯は次郎に壊された。(2人)</li> <li>ベトナム語に直訳(10人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音韻的等価(1)</li> <li>文法的等価(11)</li> <li>意味的等価(12)</li> <li>語用的等価(3)</li> <li>ほか(0)</li> </ul>
②太郎は母にマンガを捨てられた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>母は太郎のマンガを捨てた。(3人)</li> <li>ベトナム語に直訳(12人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音韻的等価(1)</li> <li>文法的等価(13)</li> <li>意味的等価(11)</li> <li>語用的等価(3)</li> <li>ほか(0)</li> </ul>
③太郎は次郎にケーキを食べられた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>次郎は太郎のケーキを食べた。(3人)</li> <li>太郎のケーキは次郎に食べられた。(1人)</li> <li>太郎は次郎にケーキを食べてあげた。(1人)</li> <li>ベトナム語に直訳(10人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音韻的等価(1)</li> <li>文法的等価(12)</li> <li>意味的等価(9)</li> <li>語用的等価(4)</li> <li>ほか(0)</li> </ul>
④太郎は犬に手を噛まれた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベトナム語に直訳(15人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音韻的等価(0)</li> <li>文法的等価(14)</li> <li>意味的等価(10)</li> <li>語用的等価(3)</li> <li>ほか(0)</li> </ul>

表 2. 所有物の受動文の翻訳

訳された文を見ると、多くの方が所有物の受動文を直接翻訳することが明らかになった。これらの文はベトナム語でも自然である。そのため、所有物の間接受動文の場合は、直訳しても問題ないということが分かる。直訳のほかに、能動文や「AのものはBにVられる」という形を使う人がある。そのような文はベトナム語でも自然である。ただし、意味を誤解する人もある。例えば、③を「太郎は次郎にケーキを食べてあげた」に訳した人がいた。

以上の分析から、調査対象者は文法的等価と意味的等価を意識していると考えられる。さらに、それらの等価を使ったと答えた人は少なくない。このように、所有物の受動文には適切な翻訳等価を使う人が多いと言える。

#### 6.3.2. 持ち主の受動文（人間）

間接受動文	ベトナム語訳を日本語に直訳したもの（人数）	翻訳方法（人数） *複数選択可
⑤太郎は次郎に姉を嫌われている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>わからない(3人)</li> <li>太郎の姉は次郎に嫌われている。(6人)</li> <li>次郎の姉は太郎に嫌われている。(1人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音韻的等価(0)</li> <li>文法的等価(7)</li> <li>意味的等価(7)</li> <li>語用的等価(2)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>太郎の姉なので、太郎は次郎に嫌われている。(2人)</li> <li>太郎は次郎の姉に嫌われている。(1人)</li> <li>太郎は次郎の姉が嫌いだ。(1人)</li> <li>次郎は太郎の姉が嫌いだ。(1人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほか： わからない(1)</li> </ul>
⑥太郎は次郎に息子を叱られた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>わからない(5人)</li> <li>太郎の息子は次郎に叱られた。(4人)</li> <li>次郎は太郎の息子を叱った。(2人)</li> <li>息子のことなので、太郎は次郎に叱られた。(3人)</li> <li>太郎の息子のことについて、次郎は太郎に文句した。(1人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音韻的等価(0)</li> <li>文法的等価(6)</li> <li>意味的等価(8)</li> <li>語用的等価(2)</li> <li>ほか： わからない(1)</li> </ul>
⑦太郎は次郎に息子を殴られた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>わからない(3人)</li> <li>太郎の息子は次郎に殴られた。(5人)</li> <li>息子のことなので、太郎は次郎に殴られた。(1人)</li> <li>太郎は次郎の息子に殴られた。(3人)</li> <li>太郎は次郎の息子を殴った。(1人)</li> <li>次郎は太郎の息子を殴った。(2人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音韻的等価(0)</li> <li>文法的等価(6)</li> <li>意味的等価(7)</li> <li>語用的等価(3)</li> <li>ほか： わからない(1)</li> </ul>

表 3. 人間である目的語のある持ち主の受動文の翻訳

間接受動文	ベトナム語訳を日本語に直訳したもの(人数)	翻訳方法(人数) *複数選択可
⑧太郎は奥さんに死なれた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>わからない(2人)</li> <li>太郎の奥さんが死んだ。(6人)</li> <li>奥さんがなくなったので太郎は独身になる。(4人)</li> <li>奥さんなので、太郎はなくなった。(1人)</li> <li>太郎は奥さんに殺された。(2人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音韻的等価(1)</li> <li>文法的等価(9)</li> <li>意味的等価(11)</li> <li>語用的等価(4)</li> <li>ほか(0)</li> </ul>
⑨太郎は花子に離婚された。	<ul style="list-style-type: none"> <li>太郎と花子は離婚した(誰かしたいかわからない)(2人)</li> <li>ベトナム語に直訳(7人)</li> <li>太郎は花子と離婚した。(太郎が離婚したい)(5人)</li> <li>花子は太郎と離婚した。(花子が離婚したい)(1人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音韻的等価(2)</li> <li>文法的等価(10)</li> <li>意味的等価(12)</li> <li>語用的等価(2)</li> <li>ほか(0)</li> </ul>
⑩花子は太郎に逃げられた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>わからない(2人)</li> <li>ベトナム語に直訳(2人)</li> <li>花子は太郎に追われた。(1人)</li> <li>太郎は花子から逃げた。(4人)</li> <li>花子は太郎から逃げた。(5人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音韻的等価(0)</li> <li>文法的等価(10)</li> <li>意味的等価(9)</li> <li>語用的等価(3)</li> <li>ほか： わからない(1)</li> </ul>
⑪昨日先生に来られた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>わからない(1人)</li> <li>昨日から先生が来た。(4人)</li> <li>昨日、先生が訪問してくれた。(1人)</li> <li>ベトナム語に直訳(3人)</li> <li>昨日、先生のところに来た。(5人)</li> <li>昨日、先生と来た。(1人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音韻的等価(0)</li> <li>文法的等価(6)</li> <li>意味的等価(5)</li> <li>語用的等価(3)</li> <li>ほか(0)</li> </ul>

表 4. 自動詞の受動文の翻訳

所有物の受動文と比べて「わからない」と答えた人がいる。理解できないのはこの文に三人の対象があるからだ。いわゆる一人ひとりの役割が見分けられないので、間違った文に訳す恐れを招くという。例えば、⑦の場合、息子がだれの子どもか迷っている人がいる。太郎の子どもか次郎の子どもかわからない。さらに、だれが動作するか、だれが動作の影響を受けるか理解できる人もいた。一方、持ち主の受動文では、調査対象者は直訳しないことがわかった。「AはBにVられる」という形をよく使う。

訳された文を見ると、人間である目的語のある持ち主の受動文の場合は、過半数の人が文法的にのみ等価に翻訳できており、意味的には等価になっていないことがわかる。ただし、調査には半数の人は文法的等価と意味的等価を意識していると答えた。このように、翻訳の目的を意識しているが、うまく翻訳できない。この原因は深くこの種類を理解しないためだと考えられる。

### 6.3.3. 自動詞の受動文

自動詞の受動文をベトナム語に訳した場合、日本語文の意味も理解できず、適切な文に翻訳できない人が多いことが分かる。所有物の間接受動文と比べて自動詞の受動文を直訳する人が少ない。その代わりに、能動文に訳す人が少なくない。といっても、適切な文に訳せる人は多いと言えない。それどころか、行為者の理解が事実とは逆の場合がある。さらに、「被害」の気持ちも表せていない。例えば、⑨を「太郎と花子は離婚した」という文に訳す人がいる。この訳された文はお知らせのように話し手の感情がないと思う。また、⑧の意味がわかるので、「太郎は奥さんに殺された」に訳した人がいる。そのために、法廷通訳のように、被害者と被告人の関係など、事実関係が重要になってくる場合では、重大な問題につながりうる。

一方、翻訳等価の上で大半の人は文法的等価も意味的等価も意識していると答えた。ただし、意味的等価にはベトナム語の文は日本語の文と対応していない。このように、自動詞の受動文の場合、多くの人は文の意味が理解できない。また、なかなかうまく翻訳等価が使用できない。

## 7. 結論

本研究では、日本語を専門的に学んでいても、日本語の受動文、特に間接受動文がうまく訳せていない現状について調査し、具体的にどのような間接受動文がベトナム語に直訳でき、どのような間接受動文がベトナム語に直訳できないのかを明らかにした。その結果、所有物の間接受動身文には直訳は有効だが、人間である目的語のある間接受動文と自動詞の受動文には使えないということが明らかになった。

日本語の受動文を訳すとき、すべての場合に直訳ができないのはそれぞれ言語の受動文の表し方は異なるからである。具体的に言えば、ことばや語順による表し方だと考えられる。ベトナム語には助詞と自動詞の受け身という概念が存在していない。そのため、日本語の受動文にだれが動作の影響を受けるか、だれが動作をするか理解できないベトナム人学習者は少なくないと思う。

また、日本語の受動文の意味を深く理解していないことから、日本語の文に隠れている感情を見落とす恐れがあると言える。つまり、ベトナム語に対応しない受動文を訳す場合にベトナム人が日本語の文の意味を一部しか理解できない可能性がある。つまり、どのような場合にも直訳が応用できるわけではない。

直訳のほかに、翻訳者は等価翻訳の評価点を使用し訳すことができるだろう。今回の調査で多くのベトナム人日本語学習者が翻訳等価についての概念を知らず、翻訳等価を理解

していても文法的等価のみを意識していることが多いことが明らかになった。意味的等価までを含めて訳せる人はわずかだった。そのため、どのように翻訳教育の質を高めるか検討していく必要があることが分かった。

本研究では、翻訳のことば遣いを議論することではなく、直訳の問題について検討し、正しく日本語の受動文を伝えることについて考えた。そして日本語の受動文を訳す際に、以下のような注意点が必要であることを示した。

- (1) 自動詞の間接受動文は事実関係も捉えられていないことがあるため、注意すべきである。特に、行為者が誰で、誰が影響を受けるのかなどを確認する必要がある。
- (2) 間接受動文をベトナム語に訳す場合、意味的等価も意識し、情報（～されて困っているなど）を補足する必要がある。また、「bị (被)」だけではなく、マイナスの意味を持つほかの表現も使用する。

## 8. 今後の展望

上述したように、本研究では日本語の受動文の直訳における問題を指摘した。今後は、法廷通訳など、事実関係が重要となる通訳・翻訳場面における受動文の訳され方を調査し、より適切な受動文の訳し方を検討したいと思う。詳しくはベトナム語の文に翻訳できるか検討し、訳された作品を基にして訳された文を分析する。そして具体的な訳し方を提案していきたい。

さらに、日本語教育現場における受動文の指導についての検討および提言したいと思う。受動文がうまく訳せないのは、日本語の受動文を十分に理解できていないからだと言える。そのため、ベトナムにおける日本語教育を見直す必要があると考える。ベトナム語には助詞が存在しないため、受動文における助詞（に・は・を）についての説明が必要である。確かに日本語とともにベトナム語には受動文が存在しているが、その特徴は異なる。そこで、母語の影響を受けないように指導することが重要であると考えられる。

## 9. 参考文献

- [1] Nguyễn Hồng Côn (2001) 「Về vấn đề tương đương trong dịch thuật」, Tạp chí Ngôn ngữ, số 11
- [2] Lâm Minh Hoa (2013), "Bị" và câu bị động trong tiếng Việt, Trường Đại học Quốc Gia Hà Nội
- [3] Lý Tư Nghi (2017), So sánh ngữ pháp, ngữ nghĩa của từ “Được, Bị, Phải” của tiếng Việt với từ “Bị” của tiếng Hán, Trường Đại học Khoa học Xã hội và Nhân văn
- [4] Phương Lan (2021), Việt Nam đứng thứ 6 thế giới về số người học tiếng Nhật, VOV2  
<<https://vov2.vov.vn/giao-duc-dao-tao/viet-nam-dung-thu-6-the-gioi-ve-so-nguoi-hoc-tieng-nhat-31029.vov2>>
- [5] 山下好孝 (1997), 『受け身』教授法の問題点、北海道大学留学生センター紀要, 1, 1-17
- [6] 田中真理・舘岡洋子 (1992), 「構文と意味の面からみた「受身」と「～てもらう」の使い分け — 「迷惑・被害の受身」の考察を通して」, ICU 日本語教育研究センター紀要 2, p. 235-256
- [7] レー ビック ジェップ (2020) 「日本語の受動文とベトナム語の“bị”受動文との対照」, 筑波応用言語学研究 26号, p.16-29
- [8] リュウ・ガン・ツ・ウエン (2018) 「日本語とベトナム語の受け身の対照研究」名古屋大学大学院人文学研究科

資料:調査で用いた日本語文

以下の文をベトナム語に訳し、なぜそのように訳したかについて説明してください。

1	太郎は次郎に携帯を壊された。	16	K氏は首をかしげた。
2	太郎は母にマンガを捨てられた。	17	長い目で見ます。
3	太郎は次郎にケーキを食べられた。	18	先生に褒めてもらった。
4	太郎は犬に手を噛まれた。	19	太郎は次郎にパーティーに誘ってもらった。
5	太郎は次郎に姉を嫌われている。	20	友達に手伝ってもらった。
6	太郎は次郎に息子を叱られた。	21	褒めてもらって、うれしくないわけがない。
7	太郎は次郎に息子を殴られた。	22	家事をしている間、子供をおもちゃで遊ばせておく。
8	太郎は奥さんに死なれた。	23	息子は何を言っても聞かないので、自分のしたいことを勝手にさせておくことにした。
9	太郎は花子に離婚された。	24	夏に車の中で子供を待たせておくのは危険だ。
10	太郎は突然花子に来られた。	25	リンさんは試験が近いのに、ぜんぜん勉強しようとしなない。
11	花子は太郎に逃げられた。	26	小さい子供が道を渡ろうとしている。
12	昨日先生に来られた。	27	お待たせいたしました。
13	K氏はこれ(時計)を買ってから、五年ほどになる。	28	明日休ませていただいてよろしいでしょうか。
14	田中さんに私の部屋に来るように言ってください。	29	お茶とかいかがでしょうか。
15	K氏は週末の旅行に出かけるため、用意をととのえていた。	30	お世話になっております。

### <要旨>

Hiện nay, số lượng người Việt học tiếng Nhật ngày càng nhiều, đứng ở vị trí thứ 6 trên toàn thế giới. Do đó, số người học tiếng Nhật đạt đến trình độ thượng cấp không phải là con số nhỏ so với trước kia. Dù vậy, việc học giỏi tiếng Nhật và dịch thuật tiếng Nhật là hai việc khác nhau. Vì chưa có sự nhìn nhận đúng này mà có rất nhiều người gặp vấn đề trực dịch khi dịch thuật khiến câu văn thiếu tự nhiên. Trong số những loại câu khó dịch từ tiếng Nhật sang tiếng Việt, câu bị động là dạng câu được nhiều người quan tâm đến. Để làm rõ về vấn đề trực dịch câu bị động khi dịch thuật, bài nghiên cứu này đã tiến hành khảo sát gần 30 người học tiếng Nhật có trình độ từ N2 trở lên. Từ đó, phân tích nguyên nhân dẫn đến việc dịch sai hoặc dịch thiếu tự nhiên. Cụ thể, câu bị động trực tiếp sẽ dễ dịch hơn do cấu trúc câu khá giống tiếng Việt. Nhưng câu bị động gián tiếp khiến người học dịch sai hoặc dịch thiếu tự nhiên do người học chưa hiểu rõ thành phần câu bị động tiếng Nhật. Ngoài ra, nguyên nhân khác khiến người học dịch thiếu tự nhiên là do chưa linh hoạt trong cách dịch và chưa hiểu đúng về khái niệm tương đương trong dịch thuật. Để dịch câu bị động tiếng Nhật giỏi, người học cần lưu ý đến nội dung câu, cảm xúc trong câu và làm rõ được các đối tượng trong câu.

# 日本人学生とインドネシア人日本語学習者の日本語の「ガ・ケド」の使用実態

シャブリナ・ヌルサフィヤ・ファリッド

## Usages of Japanese 'Ga' and 'Kedo' by Japanese students and Indonesian Japanese language-learning students

Shabrina Nursafiyah Farid

キーワード：インドネシア人、日本語学習者、接続詞、「ガ」、「ケド」

### 1. はじめに

日本語の「ガ・ケド」は、一般的に逆説の助詞として知られているが、その用法は逆説だけではない。石黒（2014）は日本語の「ガ・ケド」には五つの用法があると指摘している。具体的には、逆説用法、前置き用法、提題用法、挿入用法、文末用法である。また、石黒（2014）は、講義の場面で使用される「ガ・ケド」類を観察した結果、前置き用法が4割程度でもっとも多いと指摘している。なお、ここでいう「ガ・ケド」類には、「けれども」「だけれど」なども含むものとする。

一方、インドネシア人の日本語学習者にとっては、接続詞は習得が困難となる品詞である。なぜかという、日本語の接続詞はインドネシア語で直接的な対訳をすることが難しいのである（Astomo 2009）。ただし、数は少ないが、「ガ・ケド」の対訳として認められる語もある。例えば、インドネシア語の「Tapi」は「ガ・ケド」の逆接用法に相当し、また「Alangkah baiknya」は文末用法に相当する（Wijayatiningrum 2013）。しかしこれらの例を除き、インドネシア語には「ガ・ケド」の前置き用法、提題用法、挿入用法の対訳とされる語はない。

インドネシア人の日本語学習者が日本語の「ガ・ケド」を使う時、日本語母語話者とは違う傾向が現れる可能性がある。つまり、インドネシア語には対訳が存在しない前置き用法、提題用法、挿入用法の「ガ・ケド」を使えないという可能性である。

本レポートでは日本人とインドネシア人の日本語学習者の日本語の「ガ・ケド」の使用を比べ、その使い方に違いがあるかを調べる。これによって、インドネシア人の日本語学習者はどれぐらい日本人らしい「ガ・ケド」の使い方を習得できているか、つまり日本人と同じように五つの用法を習得できているかを明らかにする。

### 2. 先行研究：「ガ・ケド」の用法

本レポートでは、「ガ・ケド」の用法の分類については、石黒（2014）と永田（2001）の分類による用法と定義を参考にする。前述のように、石黒（2014）は逆説用法、前置き用法、提題用法、挿入用法、文末用法の五つに分類している。一方、永田（2001）は「逆説用法」、「対比用法」、「前置き用法」、「提題用法」、「挿入用法」、「文末用法」という六つの分類方法を提示している。しかし、永田（2001）の「逆接用法」と「対比用法」は区別ができないと判断して、本レポートでは「対比用法」は「逆接用法」に含まれると考える。

#### 2.1 日本語の「ガ・ケド」の用法

##### 2.1.1 「逆接用法」

逆接用法は、先行する従属節から推論を行ったとき、後続の主文がその推論に反する関係になる（石黒 2014）。つまり、先行する従属節から想定される内容が、後続の主文によって棄却される（永田 2001）。下の例は、従属節の内容（「周りは使っている」）から、主文では自分も使うという内容が想定されるが、その想定を棄却したものである。

例 「周りを使っているけど、自分は使わない。」(石黒 2014, p.7)

### 2.1.2 「前置き用法」

前置き用法は、先行する従属節で後続の主文の理解を助ける情報を示す(石黒 2014)。要するに、これから聞き手が耳にする内容を予告し、方向づける働きをするということだ。また、前置き用法の「ガ・ケド」の後には「えーと」や「あの一」が来やすい。これは、次に来る内容をあまり考えておらず、言ってから考えることが多いからである。この点において、前置き用法の「ガ・ケド」は、接続詞「で」と共通点があると石黒(2014)は指摘している。さらに、自由談話において前置き用法はコミュニケーションを円滑にすることに特に注意が払われ、談話を展開させる機能を担う。下の例では、従属節で、その後の主文の内容を予告し、方向づけている。

例 「現代語の動詞ということに限ってお話をしますが、現代語の日本語の動詞、活用の種類ってというのは何パターンあるのでしょうか。」(石黒 2014, p.7)

### 2.1.3 「提題用法」

提題用法は単独の名詞や名詞句、ときには副詞節に後接し、文全体の話題や注目したい要素を提示する(石黒 2014)。石黒(2014)が指摘する通り、従属説の内容を提示するという点で、提題用法は前置き用法に近く、尾谷(2005)は提題用法と前置き用法は基本的に同じ働きをすると論じている。しかし、例えば「悪いけど、お金貸してくれない？」(尾谷 2005, p.17)は前置き用法であって、提題用法ではないと考えられる。

永田(2001)は提題用法の動きがトピックに特定されていると指摘している。また、提題用法は、話者が特にトピックの関連性に関する聞き手の想定を「抑制」するために提示されることも指摘されている(永田 2001)。つまり、トピックを導入するにあたって、聞き手の想定に抑制すべき想定が現れることを防ぎ、談話の中のトピックの関連性を保つために提題用法が用いられる。下の例では、従属節で主文のトピックを導入している。

例 「じゃ、えっと、今日の講義ですけれども、今日は、えっと、四つのことについて、皆さんにお話をしたいというふうに考えています。」(石黒 2014, p.7)

### 2.1.4 「挿入用法」

挿入用法は文法的な構造から考えるとやや不自然な位置に割って入る補足的な情報を示す(石黒 2014)。石黒の説明では、すでに述べた内容だけでは情報が不足していると話し手が判断した場合に、当初の発話計画を変更して入れるものとされている。その方法は、話し手が話している言葉を自分でモニターしているときに、思いついたことを口にする。なので、個人的なことを話し始めることもある。また、永田(2001)によると、挿入用法は話し手が新たなトピックの導入に特に注意を払っていることの表れであるため、トピックの開始位置に見られないと指摘している。下の例は、話し手が英語について話そうとしたものの、聞き手の中に中国人がいることを思い出して、中国語という言葉を入れたものである。

例 「あの、例えば、英語、中国語もそうだと思います けど、人称表現によって個性

を出すということは非常に難しいです。」(石黒 2014, p.8)

### 2.1.5 「文末用法」

文末用法の特徴は、文末に出現するという点である。つまり、文末に来るガ・ケド類というものである。石黒 (2014) によれば文末用法の機能は「言い残し」という省略された暗示的意味を聞き手に理解させる場合、その文だけで完結している「言い終わり」の場合、そして補足的な情報を示す倒置の場合があると指摘している。文末用法の目的は相手の反応を引き出すことであるため、例えば下の例のように文末用法の「ガ・ケド」を使えば、断定を回避し、相手の反応を引き出すことができる。

例 「ま、聞きなれない言葉だと思います けど。」(石黒 2014, p.8)

## 2.2 「ガ・ケド」に相当するインドネシア語

### 2.2.1 「Tapi」「Meskipun」

Wijayatiningrum (2013) が指摘するように、「ガ・ケド」の逆接用法に相当するインドネシア語は「Tapi」「Tetapi」「Meskipun」である。例えば「Tapi」は、文法的に直前の言葉を否定しながら、次の言葉と接続するという逆接の機能を持つ。例文とインドネシア語の翻訳を以下に示す。

例1 火曜日です けど、体育の日ですから、お休みですよ

*Meskipun hari Selasa, karena hari olahraga, libur loh.*

例2 昨日はいい天気でした が、今日は雨です

*Kemarin cuacanya cerah, tapi sekarang hujan.*

(Wijayatiningrum 2013, p.62-63)

### 2.2.2 「Alangkah baiknya」「Mudah-mudahan」

日本語からインドネシア語への翻訳において、「ガ・ケド」は、「Alangkah baiknya」や「Mudah-mudahan」といった話者が期待どおりに進めたい気持ちを強調するための表現に訳されることもある。このように翻訳される「ガ・ケド」は終結位置であり、文を完結させる言い終わりの「文末用法」と相当すると考えられる (Wijayatiningrum 2013)。例文とインドネシア語の翻訳を以下に示す。

例1 早く暖かくなるといいんだ けど..

*Alangkah baiknya jika hari segera panas.*

例2 うまくいけばいいんです が..

*Alangkah baiknya kalau berjalan lancar*

例3 もう少し大きいのが欲しいん だけれど..

*Saya mudah-mudahan mendapatkan yang agak besar itu.*

(Wijayatiningrum 2013, p.53)

### 2.2.3 翻訳できない用法

上に述べたように、「ガ・ケド」に相当するや機能を持つインドネシア語の接続詞があるとは言え、Astomo (2009) が述べたように、インドネシア語に翻訳できない用法もある。具体的には、前置き用法、提題用法、挿入用法である。そのような場合、「ガ・ケド」を訳さず、その他の部分を訳すことになる。下は、先行する従属節で後続の主文の理解を助ける情報、補足、または導入表現を示す「前置き用法」であるが、日本語文の相当するインドネシア語文は、「が」や「けど」を訳さず、その他の部分だけを訳している。

- 例1 郵便局へ行きたいですが、道を教えてください  
*Saya ingin pergi ke kantor pos, tolong beritahu jalannya.*
- 例2 谷ですけど、智子さんいらっしゃいますか。  
*Ini tani. Apakah Tomoko di sana?*

(Wijayatiningrum 2013, p.62)

また、前述した通り、インドネシア語の「Alangkah baiknya」「Mudah-mudahan」は「ガ・ケド」の文末用法に相当するが、すべてを語らずに、暗示的意味を聞き手に理解させるいわゆる「言い残し」の文末用法はインドネシア語に訳すことはできない。下の例のインドネシア語文は、「けど」とその後の省略された暗示的意味を訳さず、その他の「私はゴルフをしないわけではない」の部分だけを訳している。

- 例 私はゴルフをしないわけではないんですけど..  
*Bukannya saya tidak mau bermain golf...*

(Wijayatiningrum 2013, p.51)

Wijayatiningrum (2013) の「でも、けれども、が、しかし」の接続詞使用エラー分析についての研究によると、68%の回答者（インドネシアの大学生の日本語学習者）は終結位置に現れる「ガ・ケド」の「言い残し」の文末用法が理解できなかった。

また、インドネシアでは、「ガ・ケド」などの接続詞の使用に関する日本語の教科書は少ない。そして、多くの学生は教科書に頼るだけであまり復習や接続詞を理解することに役立つ参考資料を調べないのである。そのため、インドネシアでは、実際にどのような状況で日本語のガ・ケドを使用するのか理解できない学習者が多い。

こうした状況を踏まえ、本レポートでは、インドネシアの大学生の日本語学習者の「ガ・ケド」の使用実態を調査する。

### 3. 調査

本調査では、インドネシア人の日本語学習者が実際の会話でどのような「ガ・ケド」の用法を使うかを調べる。調査の目的は日本人とインドネシア人の日本語学習者の日本語の「ガ・ケド」の使用を比べ、その使い方に違いがあるかを観察することによって、インドネシア人の日本語学習者が日本人と同じように「ガ・ケド」の五つの用法を使えるかを調査することである。

#### 3.1 調査協力者

調査に参加した協力者は、まず日本語母語話者として三重大大学の日本人学生2名、そしてインドネシア人日本語学習者として、パジャジャラン大学の日本語学科で日本語を学んでいる2名である。インドネシア人日本語学習者達は日本語のレベルは JLPT の N2 レベルである。調査協力者の詳細を表1に示す。

表1 調査協力者一覧

調査協力者	性別	出身国	所属	年生	日本語レベル
A	女性	日本	三重大学・生物資源学部	1年生	母語話者
B	女性	日本	三重大学・生物資源学部	1年生	母語話者
C	女性	インドネシア	パジャジャラン大学・日本語学科	4年生	JLPT N2

D	男性	インドネシア	パジャジャラン大学・日本語学科	3年生	JLPT N2
---	----	--------	-----------------	-----	---------

### 3.2 調査方法

調査方法は、日本人とインドネシア人の日本語での会話を zoom で録画し、その会話に現れる「ガ・ケド」の用法を分析した。会話のトピックは、調査協力者は大学生同士なので、自由にいろいろな話ができるように「日本とインドネシアの大学」についてのトピックにした。表 2 が示すように、会話は二つのセッションに分けて、それぞれのセッションで 5 つの項目について話した。筆者は、ファシリテーターとしてそれぞれのセッションに参加した。

表 2 会話のトピック

話すこと	項目
交流会開始と説明	
自己紹介	全員メンバーは簡単な自己紹介をする
セッション①	① 自分の大学・学部・学科
	② 今の大学・学部・学科を選んだ理由やきっかけ
	③ 同級生やクラスメイトの人数
	④ 大学の授業時間割
	⑤ 大学の休み
セッション②	① 大学の食堂
	② 大学の学内イベント
	③ 大学のサークル
	④ その他の活動（アルバイト、ボランティア、就職活動）
	⑤ 大学を卒業後の進路
終了	

最初の説明の時間を含んで、116分57秒の会話を zoom で録音した。それぞれの項目について、まず学生達が自分の大学について説明し、他の学生がコメントしたり、質疑応答したりするようなやりとりで会話が進んだが、多くの時間は自由会話に近いような形で会話が続いた。

筆者は、会話の中で日本人とインドネシア人学生が「ガ・ケド」を使った発話を文字起こして、それぞれの発話にどの「ガ・ケド」の用法が使われているかを分析した。そして最後に、日本人とインドネシア人が使う「ガ・ケド」の用法の割合を比べた。

### 4. 結果

日本人学生とインドネシア人日本語学習者の、トピックごとの「ガ・ケド」の用法別出現回数は表 3 のようになる。

表 3 「ガ・ケド」の用法別出現回数

トピック	話者	逆接	前置き	提題	挿入	文末	小計
自分の大学	日本語母語話者	1	0	0	1	0	2
	インドネシア人日本語学習者	3	0	0	0	0	3

大学／学部／学科を選んだ理由	日本語母語話者	2	0	0	0	1	3
	インドネシア人日本語学習者	1	0	0	3	0	4
同級生やクラスメイトの人数	日本語母語話者	0	0	0	1	0	1
	インドネシア人日本語学習者	3	1	0	1	1	6
授業の時間割	日本語母語話者	1	0	0	0	0	1
	インドネシア人日本語学習者	4	1	1	1	1	8
大学の休み	日本語母語話者	3	0	0	1	0	4
	インドネシア人日本語学習者	4	0	0	1	2	7
大学の食堂	日本語母語話者	0	0	0	2	1	3
	インドネシア人日本語学習者	4	0	0	4	0	8
大学のイベント	日本語母語話者	0	0	0	2	1	3
	インドネシア人日本語学習者	1	0	1	2	0	4
大学のサークル	日本語母語話者	3	1	0	3	0	7
	インドネシア人日本語学習者	5	0	0	3	0	8
他の活動	日本語母語話者	1	0	0	0	1	2
	インドネシア人日本語学習者	0	0	0	0	0	0
卒業後の進路	日本語母語話者	1	0	0	1	1	3
	インドネシア人日本語学習者	1	0	0	0	0	1
計		38	3	2	26	9	78

「ガ・ケド」の出現回数は全部で 78 になった。出現している用法は「逆接」が 38、「前置き」が 3、「提題」が 2、「挿入」が 26、「文末」が 9 である。この数字から見ると、逆接用法の出現頻度が 48.7%でもっとも多い。次に多いのは挿入用法で 33.3%である。

#### 4.1 日本人の結果

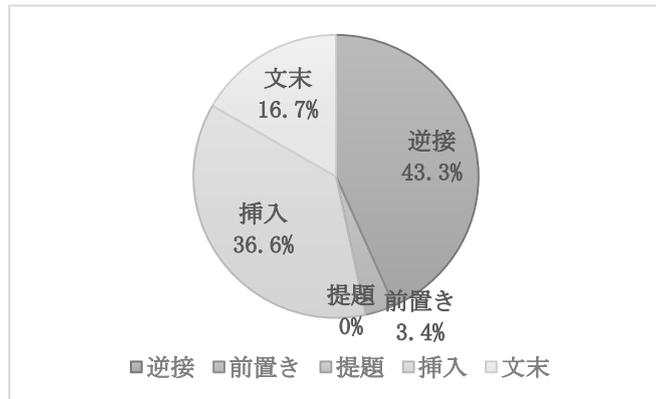
日本人学生 A と B の「ガ・ケド」の用法別出現頻度は表 4 のようになる。「ガ・ケド」の出現回数は 30 になったが、出現している用法は「逆接」が 13、「前置き」が 1、「提題」が 0、「挿入」が 11、「文末」が 5 であった。この数字から見ると、逆接用法の出現頻度は 43.3%でもっとも多い。次に多いのは挿入用法が 36.6%程度である。それぞれの用法の割合を図 1 に示す。しかしながら、日本人学生の発話には提題用法の使用が現れなかった。さらに、30 の出現の中で、日本人学生は常に「ケド」を使って、「ガ」を全く使わなかった。

表 4 日本人学生のガ・ケドの用法別出現頻度

		逆接	前置き	提題	挿入	文末	小計
A	ケド	5	1	0	10	4	20
	ガ	0	0	0	0	0	0
B	ケド	8	0	0	1	1	10
	ガ	0	0	0	0	0	0
計		13	1	0	11	5	30

	(43.3%)	(3.4%)	(0%)	(36.6%)	(16.7%)	
--	---------	--------	------	---------	---------	--

図1 日本人学生のガ・ケド類の用法別出現割合



次に日本人学生から出てきた「ガ・ケド」の発話の実例を用法ごとに説明していく。

逆説用法の例：イルカのことを勉強できるこの三重大学に来たんです けど、イルカを知りたい、イルカを研究したい人が多すぎて正直微妙なところです

(Bさん、7分56秒)

Bさんは三重大学に入った理由の関連性に「イルカを勉強するために三重大学に来た」という理由から想定される「イルカを勉強したいと今も思っている」という内容を棄却している。むしろBさんは微妙なところにいる（イルカを勉強するかどうか今は分からない）という「ケド」の逆説用法が使われていると考えられる。

前置き用法の例：ちょっと戻るんです けど、私、中学校と高校の時剣道部やってて (Aさん、1時34分31秒)

大学の部活について話している際に、Aさんは注意を払って、これから話す「中学校と高校の時の部活」という内容を方向づけているので、「ケド」の前置き用法が使われていると考えられる。

挿入用法の例：学部学科によるんです けど、私たちの学科は42、41 がいると思います (Bさん、17分0秒)

同級生の人数の話の際に、聞き手がもっと内容が分かりやすくなるように、Bさんは説明している途中で、学生の人数は「学部学科による」という情報を示しているので、「ケド」の挿入用法が使われていると考えられる。

文末用法の例：水泳のコーチはちょっと安いんで、給料がダメなんです けど (Bさん、1時43分20秒)

Bさんは水泳のコーチとしてアルバイトをやっているという話の際には給料の情報を語らないで、「給料がダメなんですけど」という文の途中で話を終わらせるという「ケド」の文末用法が使われている。

#### 4.2 インドネシア人の結果

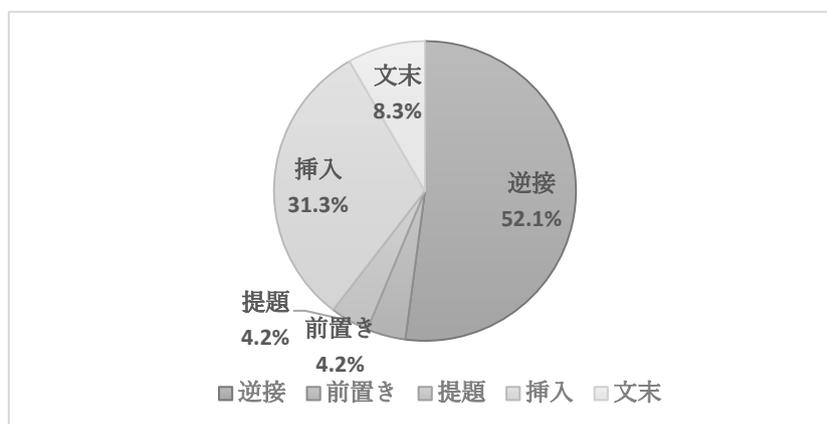
インドネシア人学生CとDの「ガ・ケド」の用法別出現頻度は表5のようになる。「ガ・

ケド」の出現回数は 48 になったが、出現している用法は「逆接」が 25、「前置き」が 2、「提題」が 2、「挿入」が 15、「文末」が 4 であった。この数字から見ると、逆接用法の出現頻度が 52.1%でもっとも多い。次に多いのは 31.3%の挿入用法である。それぞれの用法の割合を図 2 に示す。そして、インドネシア人学生は五つの用法を全て使用している。また、48 の出現の中で、「ケド」は 44 回、「ガ」は 4 回現れた。

表 5 インドネシア人学生のガ・ケドの用法別出現回数

		逆接	前置き	提題	挿入	文末	小計
C	ケド	15	1	1	7	2	26
	ガ	0	0	0	0	0	0
D	ケド	8	0	0	8	2	18
	ガ	2	1	1	0	0	4
計		25 (52.1%)	2 (4.2%)	2 (4.2%)	15 (31.3%)	4 (8.3%)	48

図 2 インドネシア人学生のガ・ケド類の用法別出現割合



次にインドネシア人学生から出てきた「ガ・ケド」の発話の実例を用法ごとに説明していく。

逆接用法の例：最初は仕方なく、日本語学科の生徒になるんですが、今は入って良かったと思います (D さん、16 分 11 秒)

D さんは「最初は仕方なく」日本語学科に入ったという理由から想定される「日本語科に入ったのは嫌だった」という内容を棄却し、次の「今は入って良かった」に接続する「ガ」の逆接用法が使われていると考えられる。

前置き用法の例：皆さん、一応忠告しておきますが、アリンダ先輩は特別なんで、代理にはなれないで (D さん、31 分 21 秒)

学生の寝る時間を話す際に、D さんはトピックに入る前に聞き手を忠告するという「ガ」の前置き用法が使われていると考えられる。

挿入用法の例：幼稚園の時だとテレビで見てるので、インドネシア語だったんです けど、小学校の終わりのところでアニメあんまり流れてこないんですよ。(C さん、10 分 54 秒)

Cさんは幼稚園の時に観たアニメの話の途中で、聞き手がもっと内容が分かりやすくなるように、インドネシアに放送されるアニメは「インドネシア語で放送された」という情報を示しているので「ケド」の挿入用法が使われていると考えられる。

文末用法の例：2、3 か月は夜10 時くらいに寝るようにしています。12 時とか1 時に寝ることも多いんですけど。(Dさん、33分12秒)

学生の寝る時間という話の際には、Dさんは情報を伝えてからそのトピックの話を終わらせるという「ケド」の文末用法が使われている。

提題用法の例：ちなみに、時間割についてなんですが、私、この間ベトナム師範大学と交流会に交流会したことがあって (Dさん、27分43秒)

大学の授業時間と勉強の時間割りという話の際に、Dさんは聞き手を関連している別のトピックに移動させる「ガ」の提題用法が使われていると考えられる。

## 5. 考察

日本語の「ガ・ケド」の五つの用法のうち、インドネシア語には逆接用法と文末用法しか対訳が存在しないが、調査の結果、インドネシア人学習者は、五つの用法を全て使った。結果的にインドネシア人学生は日本語の5つの用法を習得できていたと言える。そして、日本人もインドネシア人も、逆説用法と挿入用法が多く使用されているという結果が現れた。しかし、逆説用法に着目すると、日本人よりもインドネシア人の方が多く使用されているという結果が現れた。インドネシア語に逆説の対訳があるからという可能性を示している。また、インドネシア語に対訳がない挿入用法の使用も多かったのは、挿入用法には文法的な制約が少ないためであるかもしれない。2.1.4 節で述べたように、挿入用法は文法的にやや不自然な位置に割って入る補足的な情報を示す(石黒 2014)。言い換えると、挿入用法は、文法的には、文のその他の部分から独立しており、文中のどこでも出現することができる。これは、挿入用法の使用が文法的に簡単であることを示している。

一方、文末用法に着目すると、インドネシア人よりも日本人の方が多く使用されているという結果が現れた。インドネシア語に文末用法の対訳もあるのに、インドネシア人の学習者は途中で終わる日本語の「ガ・ケド」の文を発話しなかった。これは、インドネシア人が文末用法を学習していないからという可能性がある。一般的に、日本語学習者が学ぶのは、主語、述語がある完成された文が多いと考えられる。逆に言えば、学習者は、文末用法のような不完全な文を学ばないし、指導されない。正しい日本語文を言おうとすれば、不完全な文を言わないようになる。

また、日本人もインドネシア人も、「ケド」に比べて「ガ」が使われることは少ないという結果が現れた。特に、日本人は会話の中で「ガ」を全く使わなかった。本調査では学生の自由会話を調べたが、「ガ」はもっと丁寧な場面に使われるからという可能性がある。日本人が「ガ」を使わなかった理由が、自由会話では「ケド」の方が自然だからなのなら、同じように「ガ」の発話が少なかったインドネシア人も、日本人らしい「ガ」と「ケド」の使い分けを習得していると考えられる。

## 6. おわりに

本調査では、日本人とインドネシア人の日本語学習者の日本語の「ガ・ケド」の使用を比べた。その結果、インドネシア人は日本人と同じように五つの用法を習得できていると示された。しかしながら、日本人とインドネシア人の「ガ・ケド」の使用には、共通している傾向も相異なる傾向も発見された。共通しているのは、日本人もインドネシア人も、逆説用法と挿入用法を多く使うという傾向、「ケド」に比べて「ガ」が使われることは少ないという傾向が現れた。一方日本人とインドネシア人が違うのは、逆説用法は日本人よりもインドネシア人の方が多く使うということ、文末用法はインドネシア人よりも日本人

の方が多く使うということが発見された。

今後の課題として、今回の調査では2人の日本人と2人のインドネシア人日本語学習者の発話を調べたが、今回の結果の信頼性を高めるためには、もっと多くの日本人とインドネシア人学習者のデータをとる必要がある。さらに、今回の調査ではN2レベルの日本語能力のインドネシア人の会話を録音したが、もっと低いレベルの学習者なら、インドネシア人にとって習得しにくい用法が分かる可能性がある。N2レベルの学習者は五つの全ての用法を使ったが、N3、N4レベルの学習者なら、特に使わない用法が発見されるかもしれない。その場合、その使われなかった用法が、インドネシア人にとって習得しにくい用法ということになる。したがって、もっと多くの人々や異なる日本語能力のレベルの学習者の会話を調査する必要がある。

## 参考文献

- 1) 石黒圭 (2014) 「講義の談話における「が」「けれども」の用法」『一橋大学国際教育センター紀要』第5号, pp.3-15.
- 2) 尾谷昌則 (2005) 「接続詞ケドの接続的意味」『語用論研究』第7号, pp.17-30.
- 3) 永田良太(2001) 「自由談話における接続助詞ケド」『広島大学院教育学研究科紀要』第二部 第50号, pp.265-272.
- 4) Astomo, Wandu. (2009) 「Analisis Setsuzokushi demo, keredomo, shikashi dan Tokoroga」『FPBS UPI Bandung』,pp.3
- 5) Wijyantiningrum, Dien (2013) 「Analisis kesalahan mahasiswa tingkat iii jurusan pendidikan bahasa jepang upi tahun akademik 2012/2013 dalam penggunaan setsuzokushi demo, keredomo, ga dan shikashi」 『Universitas Pendidikan Indonesia』 ,pp.24-64.

<要旨>

Konjungsi bahasa Jepang sulit untuk diterjemahkan langsung ke dalam bahasa Indonesia. Misalnya, dari lima penggunaan "ga kedo" dalam bahasa Jepang, hanya dua fungsi yang dapat diterjemahkan langsung ke dalam bahasa Indonesia. Oleh karena itu, ada kemungkinan bahwa penggunaan ``ga-kedo" oleh pembelajar bahasa Jepang Indonesia akan berbeda dengan penutur asli bahasa Jepang. Laporan ini adalah hasil merekam percakapan antara pelajar Jepang dan Indonesia dalam bahasa Jepang dan membandingkan penggunaan ``ga-kedo" bahasa Jepang dan pertimbangan tentang penggunaan "ga-kedo" dalam bahasa Jepang. Hasilnya, (1) Penutur asli bahasa Jepang dan pembelajar bahasa Jepang Indonesia banyak menggunakan fungsi paradoks dan penanda inklusif, (2) Pembelajar bahasa Jepang Indonesia lebih sering menggunakan penggunaan fungsi paradoks daripada penutur asli bahasa Jepang, dan (3) penutur asli bahasa Jepang cenderung lebih sering menggunakan fungsi pada akhiran kalimat daripada pembelajar bahasa Jepang Indonesia. Lalu (4) penutur asli bahasa Jepang dan pembelajar bahasa Jepang Indonesia jarang menggunakan ``ga" daripada ``kedo".

# タイ人日本語学習者の謙讓語の習得

## —タイ人日本語学習者と日本人を対象に—

アドハン チッタブン

### Study of Thai Japanese Learner's Japanese Humble Form Learning —Thai Japanese Learner and Japanese as Subject—

ARDHARN JITTABOON

キーワード:タイ人日本語学習者、日本人、謙讓語、表現、日本社会

#### 1. はじめに

現在、タイ人日本語学習者の数は約 18 万人に達している (ジャパンファウンデーション、2015)。タイ人日本語学習者は、将来日本企業に就職する者も多く、敬語の習得は重要であると思われる。タイ語と日本語における敬語の言語構造は異なる点があり、特に、日本語のような謙讓語はタイ語にはない。それにより、日本語学習者であるタイ人が謙讓語を使用する際に、間違いがあることに気がつかないまま話し、日本人に失礼だと思われるしまうことがよくある。

本研究では、先ず日本人と日本語学習者であるタイ人が使用する謙讓語を比較し、どのような違いがあるのか分析する。次に、日本人と日本語学習者であるタイ人の謙讓語の使用実態について調査し、タイ人日本語学習者が日本語で会話する際にどのような問題が発生するか調べる。これらの比較分析を通して、タイ人日本語学習者にどのように指導すれば日本語の謙讓語の理解が深められるか考察する。

#### 2. 先行研究

##### 2.1 日本語の敬語の重要性

敬語は、古代から今まで重要な役割がある言語表現だ。敬語の役割で重要な点は、人が言葉を使用し自分の意思や感情を人に伝える際に、簡単に自分の伝えたいことを表現することではなく、相手と自分との人間関係と社会関係について配慮が必要になる点だ。立場や役割の違い、年齢や経験の違いを、敬語を使用することによって「敬い」や「へりくだり」の気持ちを表現することができる。

敬語を使えば、話し手や書き手が意図するかしらないかにかかわらず、人間関係を表現することになり、一方、敬語を使わなければ、「敬い」や「へりくだり」が入らない心情表現になる。したがって、どのような敬語を使えば、どのような人間関係を表現するのか、必ず考える必要がある (文化審議会答申, 2007)。

近年、従来の「謙讓語」が「謙讓語 I」と「謙讓語 II」とに分類された。謙讓語 I は「自分側から相手側又は第三者に向かう行為・ものごとなどについて、その向かう先の人物を立てて述べるもの。」と設定された。一方、従来の謙讓語から区別した「謙讓語 II」は「自分側の行為・ものごとなどを、話や文章の相手に対して丁寧に述べるもの。」と定

義された。これは、話題になっている人物ではなく、その話を聞いている人に使用することである(川岸, 2009)。この分類によって、謙譲語の使い方がより明確になったのではないだろうか。

日本語の「尊敬語」と「丁寧語」はどこの国の人も理解できることであるが、タイ人日本語学習者にとって「謙譲語」はむずかしい。説明の内容がわからないわけではないが、タイ語には日本語にはある謙譲語のような言い方がないからである。タイでは「クラブ」は文章の語尾につけ、男性が使う言葉であり、「カ」は文章の語尾につけ、女性が使う言葉である。これは日本語の「です」のような意味と定義されている。どのような会話であっても、これをつけるとソフトな表現になり、礼儀正しいと見られる。つまり、タイ語に尊敬語と丁寧語の概念はあっても、謙譲語の概念はないのである。「自分より上位の人が謙譲語を使うことによって、時として過剰に「へりくだる」ように感じられることがあるので、外国人には不可解に思う」というターゲ・ロッサデイ(2005)の指摘にみられるように、タイ人にとって日本語の謙譲語は特殊な言語表現であると思われる。

## 2.2 タイ語の丁寧な表現を表し方

タイ語の手寧な表現の表し方には多様な方法がある。例えば、悪い言葉を使わないこと、感謝言葉を使うこと、失敗した時に謝ることなどである。そして、タイでは、子供の頃からみんなは丁寧文を作るために、話すときに文の最後に「クラブ」、「カー」というタイ語の語尾をつけるように訓練されるので、そのことを配慮しなかった場合、非難される可能性がある(Bunpraseach Pimpaporn, 2007)。文末に「クラブ」と「カー」を使う表現は、相手に敬意を示していることを表している。

また、タイ語にはラダップパーサー(ระดับภาษา)という言語表現がある。このラダップパーサーは丁寧度が語彙の選び方で5つのレベルに分かれる。(Borisutbuathip Peerasek)。言葉を使う前に、場所、機会、相手との関係を配慮して考えないといけない。

例えば、「私」という言葉は ①ข้าพเจ้า(カープラジャウ( = わたくし、②กระผม )グラボム(、ฉัน)ディチャン( = わたくし、わたし、③ฉัน(チャン( = わたくし、④เรา)ラオウ( = わたくし、⑤กู(グー( = 俺と5段階の丁寧さを表す。

レベル1 儀式語：儀式語(ระดับพิธีการ)は重要な機会や儀式の会議、情報を報告などの状況に使う言語の形式である。使う手は主に大切な人や上司で、その内容を受ける者は同じ立場にいる者や国の人々だ。また、儀式語を伝えるときに、最も美しい言葉で話すというレベルである。

レベル2 公式語：公式語(ระดับทางการ)は文法的に正しい言語の形式である。公式語の使う目的は主に自分の伝えたいことを正直に説明することである。このレベルでは内容によって、専門用語とアカデミックな言葉も出てくることもある。このレベルはだいたい官庁の人を使われる言葉である。そして、様々な状況に使用されている、例えば、学会、公式発表、公式の手紙を書く時、ビジネスレターを書く時などの場面で使われている。

レベル3 準公式語：準公式語(ระดับกึ่งทางการ)は早めにお互いに理解できる言語の形式である。話し手と聞き手の親しさを高めるように、公式の程度を減る言葉である。このレベルでは書き言葉や話し言葉をミックスしている。他には、準公式語がよく見える状況は相談する時、雑誌や新聞の意見を言う時、バラエティ番組の場面で使われる。

レベル4 非公式語：非公式語(ระดับไม่เป็นทางการ)は儀式ではない機会に使用する言語の形式である。このレベルは4-5人のグループで日常生活の話しについて会話されるため、文の完全性と文法的の正しさについて配慮しなくてもよい。このレベルで会話する時に、外国語、略語、語尾「よ、ね、だよね」なども使われる。

レベル5 内輪で使う言葉：内輪で使う言葉(普通形)(ระดับกันเอง)は文字の通りに、内輪や

家族や親しい人（夫妻、兄弟、父母、友達など）と公的ではない場所に会話される言語の形式だ。このレベルでは 方言、スラング、若者の言葉なども使用される。

以上のように、タイ語には日本語の謙譲語にあたるものはないが、様々な言語表現で謙譲の意味を使う。そのため、タイ人日本語学習者は日本語の謙譲語の習得が難しいのである。

### 3. 調査方法

本研究では、「タイ人日本語学習者の謙譲語の習得調査」として「テスト A」「テスト B」二つ実施する。「テスト A」は、日本語学習開始後 1 年未満のタイ人日本語学習者 20 名を対象に、3.1 のように、イラストを見せて、母語と日本語で謙譲語を書いてもらう。次にテスト A の後に、日本人学生 20 名に、テスト A のタイ人日本語学習者の回答を見せ、回答した日本語の表現について、どう思うか尋ねるアンケート調査である。

#### 3.1 テスト A

「テスト A」は、タイ人日本語学習者を対象にタイ人日本語学習者の謙譲語の表現について Google Form で行うアンケートである。調査内容は、図 1 のように、『みんなの日本語 I』50 課で使用される練習問題から上司と部下が会話している 10 つの場面を使う。タイ人日本語学習者は、イラストを見ながら、タイ語で表現するならば、どのような表現するかタイ語で書いてもらう。また、日本語で表現するならば、どのような表現をすればよいか、日本語で書いてもらうアンケートである。

図1 テストAの調査で使用する10の場面



上司：「あまりと疲れたみたいね。  
あなた：…」



上司：「この町は初めてです。  
あなた：…」



上司：「フットボールはどんなですか。  
あなた：…」



上司：「8時だよ。電車は行かなければならないです。  
あなた：…」



上司：「この本、面白そうですね。  
あなた：…」

1. 部長はとても疲れている。 2. 上司は町を迷っている。 3. 上司に人を紹介する。 4. 上司は電車の時間を知りたい。 5. 上司はその本を気になる。



課長：「とても忙しい  
あなた：…」



部長：「たくさん荷物を持っています。  
あなた：「??」?



あなた：「部長に予定についての情報を知らせる」



上司：「駅へ行く道がわからないですが…  
あなた：「??」?



「はいです。でも、この本がすごく面白い。  
あなた：「ぜひ読んでほしいです。」

6. 課長がとても忙しいです。 7. 部長はたくさんの荷物を持っている。 8. 上司は予定を知りたい。 9. 部下は上司を送ろうと思っている。 10. 部下は上司の本を借りたい。

### 3.2 テストB

「テストB」は、「テストA」の答えの確認のため、日本語母語話者に「テストA」の答えを見せて、どのように思うか、日本社会で使えるのか、「A. 失礼、B. 少し失礼、C. いいと思う」この三つの選択肢から選んでもらう。また、使えない場合はどんな表現を使えば良いのか、回答するアンケートである。

1.写真の通りに、上司と会話する際、もし部下は下記の言葉を使えば、どう思いますか。「A失礼、B.少し失礼、C.いいと思う」を選んでください。それに、どのような言葉を使えばいいと思いますか、自由で書いてください。



上司 : ちょっと疲れましたね。  
部下 : ???

**選択肢**

	失礼	少し失礼	いいと思う
コーヒーを入れて差し上げます。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
コーヒーを飲みませんか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
コーヒーはいかがでしょう。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

どのような言葉を使えばいいと思いますか、自由で書いてください。

คำตอบของคุณ \_\_\_\_\_

**自由回答**

**例**

図2 テスト B の例

#### 4. 調査結果

テスト A とテスト B の結果によると、各場面のタイ人日本語学習者の各表現を日本人母語話者に聞いた後、日本人の満足度（感想）をパーセンテージグラフにしてグラフでまとめて、下記に報告する。

【場面1：上司が「とても疲れた。」と言う、あなたがその言葉を聞くとコーヒーを入れてあげたいと思います。】

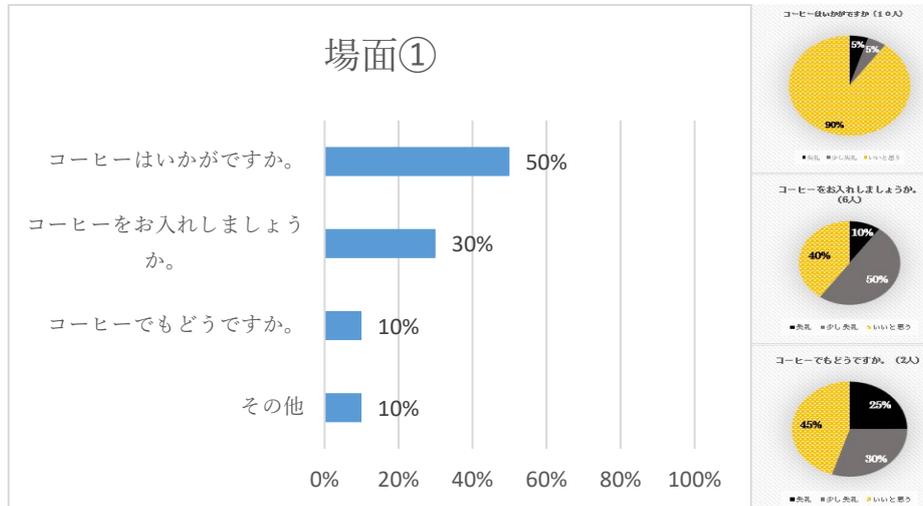


図3 場面1 テストAの結果とテストBの結果

#### テストA

場面1では、「コーヒーはいかがですか。」を回答した方が10人である。それは、一番多かったと見られる。続いて、「コーヒーをお入れしましょうか。」という答えた人が6人だった。最後は2人しか回答しなかった回答は「コーヒーでもどうですか。」である。

#### テストB

調査Aと調査Bの結末によると、場面1ではとりあえず、労う言葉を使った方が相手はもっと喜ぶかもしれない。更に、その前に「なにか飲まれますか？」を挟んだ方がより言葉の流れは良さそうと見られる。一方、勝手にコーヒーを入れるのではなく、相手から許可をもらってから入れた方がいいと思ったため、二つ目の回答は少し失礼だとわかった。

- 【場面 2 : ある日、転勤してきたばかりの上司はこの町の状況がわからない様子だったので、あなたが上司に道を案内してあげたいと思います。】

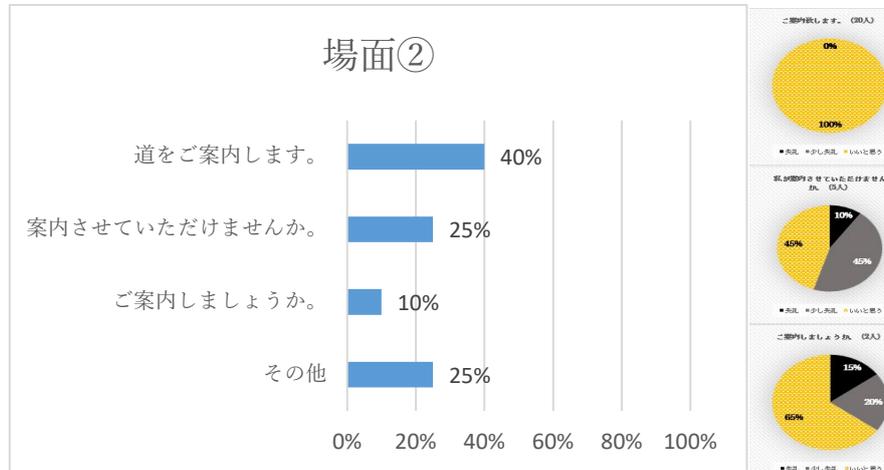


図 4 場面 2 テスト A の結果とテスト B の結果

#### テスト A

場面 2 では、対象のタイ人学生がよく使用している文章は「道を案内します。」である。そのような文章は 8 人が答えた。二番目に多かったのは、5 人が回答した「案内させていただきませんか。」である。三番目に多かったのは、2 人が回答した「ご案内しましょうか。」である。

#### テスト B

調査 A と調査 B の結末によると、場面 2 では「ご案内します。」と「ご案内しましょうか。」という表現は 1 番問題の少ない表現に見られます。しかし、2 番目（ご案内させていただきませんか。）の表現が失礼ではないが、でも「～させていただきませんか？」は許可を求める意味で使うことが多く、日本人にとって不自然な表現だと思ってしまうコメントが多かった。タイ人が「～させていただきませんか？」という表現を使用する際には、注意が必要とする表現である。

● 【場面 3：上司はワット先生がどなたか知らないなので、あなたが紹介してあげようと思っています。】

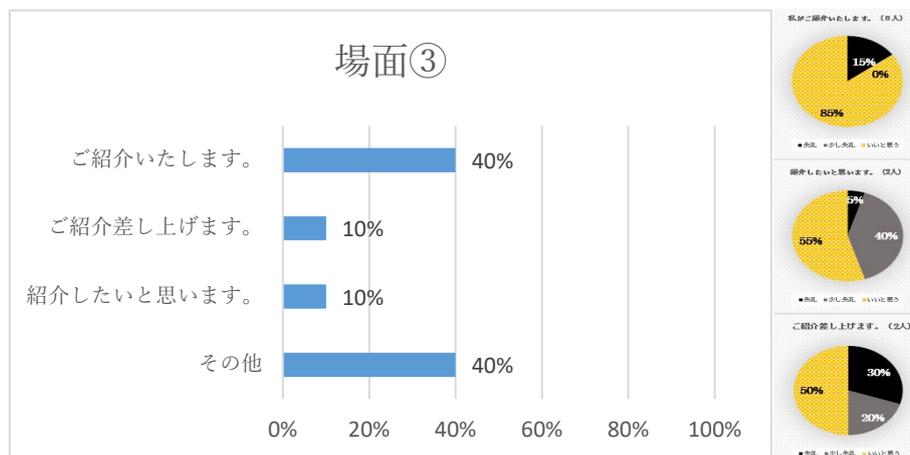


図 5 場面 3 テスト A の結果とテスト B の結果

#### テスト A

場面 3 では、タイ人学生がよく使用されている謙譲語の文章は「ご紹介いたします。」である。そのような文章は 8 人も用いていた。次に、二番目の「ご紹介申し上げます。」と三番目「紹介したいと思います。」の回答した人が 2 人と同じ人数だった。

#### テスト B

調査 A と調査 B の結末によると、場面 3 では「申し上げます」という表現を聞くとやや上からな感じや、一方的な感じがして、不自然である。又は、へりくだりすぎると逆に失礼になるかもしれない。だが、「紹介いたします。」か「これから紹介させていただきます。」という表現を使ったら、良さそうだというコメントがあった。

【場面4：上司は急いでフロントに行って、「電車の時間を知りたい」と、フロント係のあなたに言いました。】

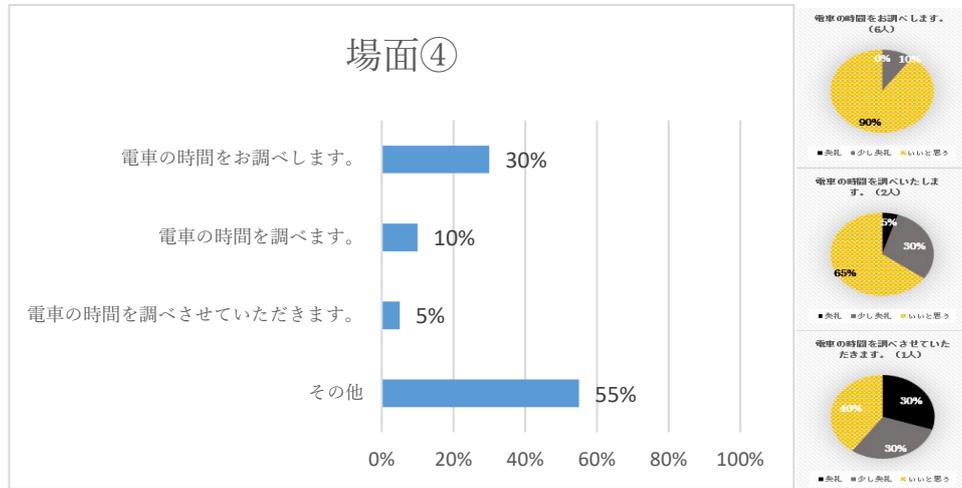


図6 場面4 テストAの結果とテストBの結果

#### テストA

場面4では、一番目は、6人が回答した謙譲語の表現は「電車の時間をお調べします。」である。二番目は、2人が回答した表現は「電車の時間を調べいたします。」。三番目は、1人しか答えた表現は「電車の時間を調べさせていただきます。」である。

#### テストB

調査Aと調査Bの結末によると、場面4ではどちらの表現でも問題がなさそうと見られる。ただ、「少々お待ちください。」を言うだけで好ましいという面白い意見があった。あるいは、「お調べいたしますので少々お待ちください。」のセットで表現したら、相手が非常に嬉しいかもしれないと言うコメントもあった。

● 【場面 5 : あなたの部屋で、上司はその本を気になっている状態で、あなたが上司にその本を貸してあげようと思っています。】

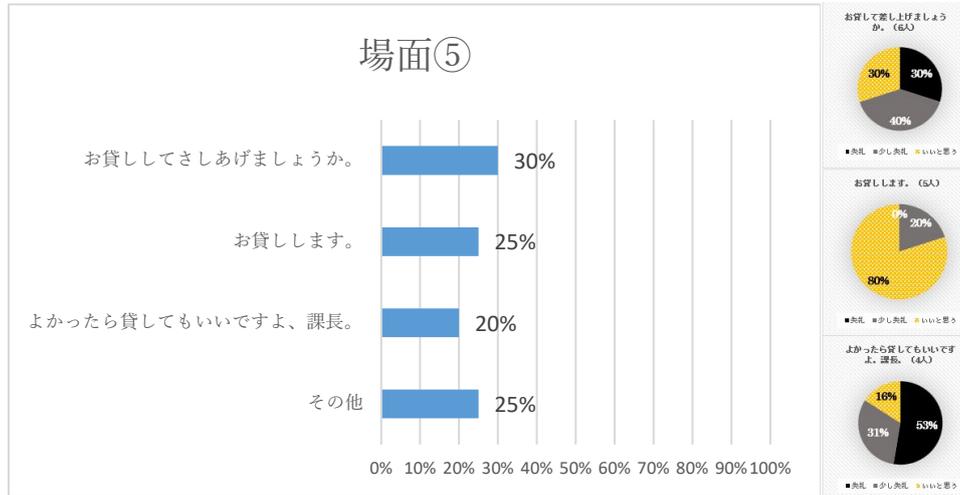


図 7 場面 5 テスト A の結果とテスト B の結果

### テスト A

場面 5 では、「お貸しして差しあげましょうか。」という回答が多くあった。そちらはタイ人学生 6 人がそのような表現で答えた。次は、5 人が「お貸しします。」という表現で回答した。それは、二番目に多かった。又は、「よかったら貸してもいいですよ。課長。」という表現を使用した人は 4 人だった。

### テスト B

調査 A と調査 B の結末によると、場面 5 では「貸してもいいですよ」という表現は「貸したくないけど、貸してもいいですよ」と捉えられてもおかしくないのでやめた方がいいと日本語母語話者からアドバイスがあった。次に、2 番目の表現は非常に堅い表現に感じるというコメントがあった。また、3 番目は親しい間柄や仕事以外の時間など、状況によっては使えるが、堅苦しい表現ではないことに注意する必要がある。

【場面 6：課長の部屋で、課長がとても忙しい様子だったので、あなたが課長の仕事を手伝いたいと思います。】

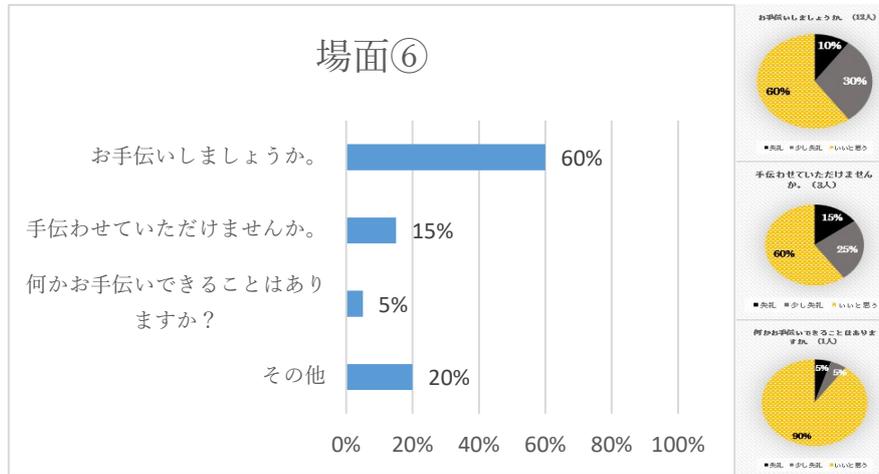


図 8 場面 6 テスト A の結果とテスト B の結果

#### テスト A

場面 6 では、まず、タイ人の対象者が 12 人も「お手伝いしましょうか。」という謙譲表現を用いた。同時に、3 人が「手伝わせていただけませんか。」で答えた。最後、1 人が回答していただいた表現は「何かお手伝いできることはありますか。」という表現である。

#### テスト B

調査 A と調査 B の結末によると、場面 6 では日本語母語話者の意見によって、どちらの表現でも良いと言われますが、2 番目の表現「手伝わせていただけませんか。」も使う場面があり、しかし、手伝いたいという意思表示が強く伝わるものはこれ以外の二つであるとわかった。一方で、1 番目の表現は「お手伝いしましょうか」ではなく、「お手伝い致しますしょうか」の方が良いという意見もあった。

【場面7：あなたは部長がたくさん荷物を持っている状態を見て、あなたが部長の荷物を持ってあげたいと思います。】

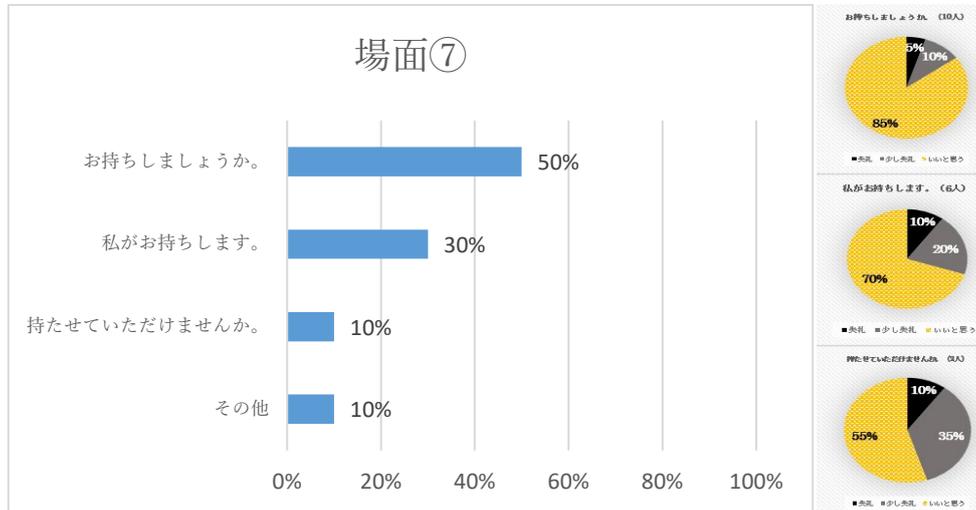


図9 場面7テストAの結果とテストBの結果

#### テストA

場面7では、タイ人学生10人が「お持ちしましょうか。」という表現で答えた。それは、タイ人学習者にとって一番適切な表現だと思っていることがわかった。そして、二番目は6人が「私がお持ちします。」と表現した。三番目は、「持たせていただけませんか。」という表現は2人しか回答しなかった。

#### テストB

調査Aと調査Bの結末によると、場面7では注意しなければならないのは、「持たせていただけませんか。」という表現は日本語母語話者にとっては不自然に感じられていたことだった。その代わりに、「私がお持ちしましょうか？」で表現した方が良いとのコメントがあった。

【場面 8：大阪へ出張している部長から電話があって、部長は「訪問先の会社のくわしいデータを知りたい」と言いました。】

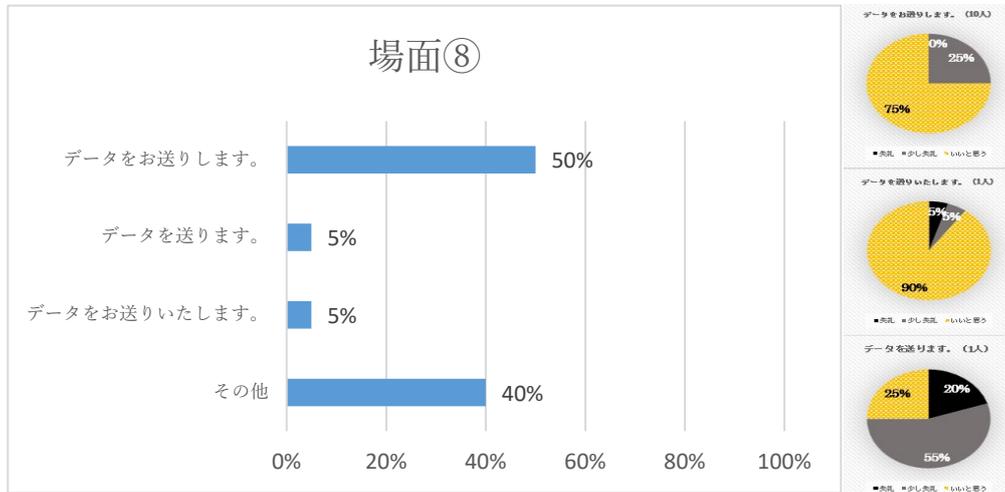


図 10 場面 8 テスト A の結果とテスト B の結果

#### テスト A

場面 8 では、一番多かった回答は「データをお送りします。」という表現である。それは、対象者が 10 人まで使われた表現である。他には一人ずつ特別な表現が表したので、筆者が面白いと思う表現を二番目と三番目に挙げた。それは、「データを送ります。」「データを送り致します。」である。

#### テスト B

調査 A と調査 B の結末によると、場面 8 では-比較をすると「データを送ります。」の回答が失礼となってしまうが、この場面では丁寧にした方が良いとのコメントがあった。さらに、「データをお送り致します。」の回答が不自然な表現だと思う人がいるとわかった。一方、「データをお送り致します。」が一番良い表現と思う人もいたが、グラフによって、一番問題がない表現は「データをお送り致します。」であることがわかった。

● 【場面 9：会議が終わったのが夜になってしまいました。あなたは上司を駅まで送ろうと思っています。】

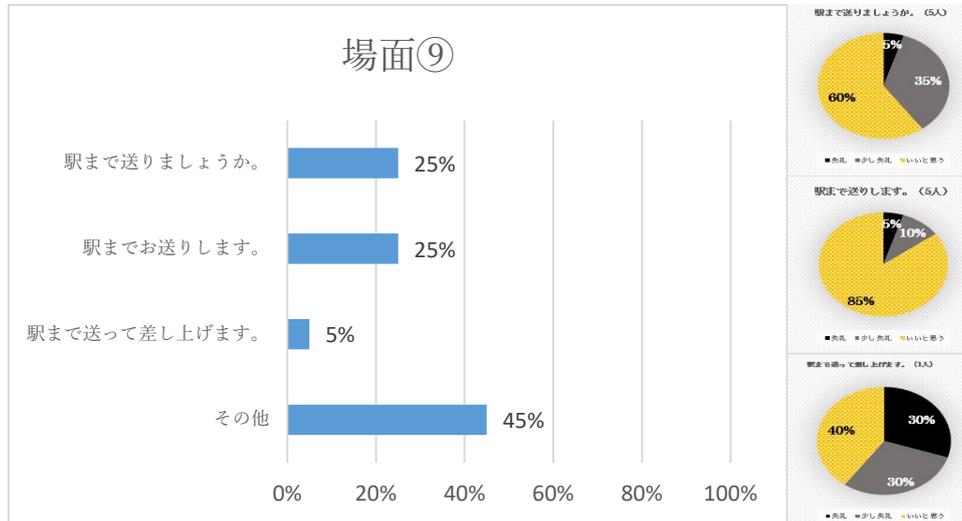


図 11 場面 9 テスト A の結果とテスト B の結果

### テスト A

場面 9 では、一番目の「駅まで送りましょうか。」と二番目「駅まで送りします。」は 5 人ずつ回答した。又は、「駅まで送って差し上げます。」という表現で回答した人が 1 人しかいなかった。

### テスト B

調査 A と調査 B の結末によると、場面 9 ではタイ語で三番目「駅まで送って差し上げます。」という表現はおかしくはないが、日本語ではあまり使わない表現であり、日本人にとって違和感がある表現であることがわかった。この場面で一番適当な表現は「駅まで送りましょうか。」であるというコメントがあった。

- 【場面 10：上司の部屋で、あなたが上司の本を読んだら、とても面白くてもっと読みたいと思いました。だから、あなたは上司にその本を借りたいと言います。】

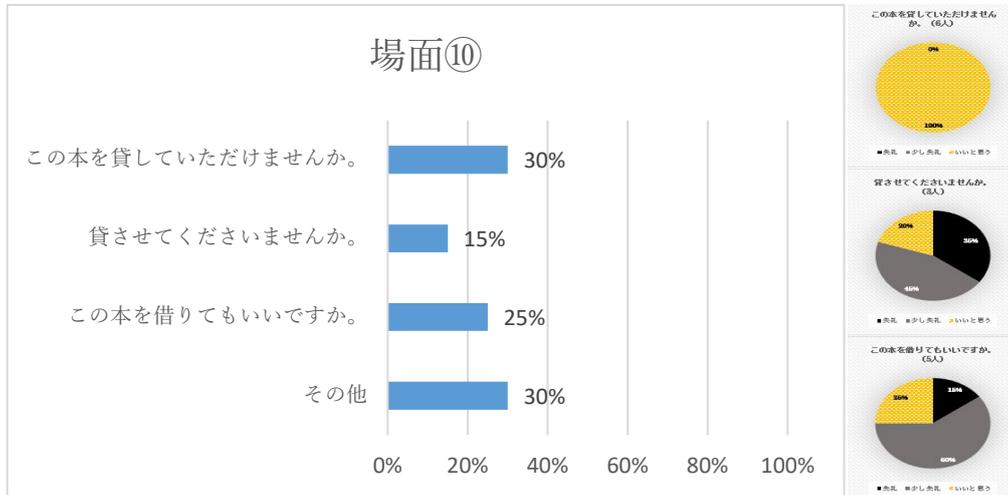


図 12 場面 10 テスト A の結果とテスト B の結果

### テスト A

場面 10 では、一番多かったのは「この本を貸していただけますか。」という表現である。そのような文章を使用した人は 6 人だった。一方、「この本を借りてもいいですか。」という表現を用いた人は 5 人だった。最後、タイ人学生の対象の 3 人が「貸させてくださいませんか。」と回答した。

### テスト B

調査 A と調査 B の結果によると、場面 10 ではまず、「貸させてくださいませんか？」は不自然な表現だとするコメントがあった。したがって、使うときに注意する必要がある。その上、「この本を借りてもいいですか？」という表現が良いが、「いい」ではなくて、「よろしい」を使用した方がいいという意見もあった。

## 5. 考察

本研究では、タイ人日本語学習者の謙譲語の使用した表現に対して日本人はどう思うのか、実際に日本の社会で使えるのか、さらにどんな問題があるのかを明らかにした。

調査の結果、タイ人日本語学習者は謙譲語の表現をよく使用できたが、問題も多かった。タイ人日本語学習者の場合は母国語の影響が強いので、日本語の謙譲語を使用する際に、日本人にとって、違和感があり不自然な表現も多いことがわかった。また、タイ人は母語の概念を持ったまま日本語を用いていることも分かった。又、タイ人日本語学習者が回答した日本語表現は文法的に間違っていないが、日本人の日常生活にはあまり使わない表現であって、不自然に見えることが分かった。さらに、タイ人がアンケート調査を回答した答えの中には、通じない文章、又は文法的に間違った表現が多いことが分かった。一方、

日本人の意見から見れば、タイ人が二重敬語を多用していることが分かった。

### 5.1 調査1の結果

タイ人は、母語には許可を求める敬語として「～てくださいますか」「～さしあげましょうか」があるので、日本語の謙譲語にもそのまま使ってしまった（母語の影響）

例えば、場面⑩の「貸させてくださいますか。」又は、場面②「～さしあげましょうか」。場面③の「ご紹介差し上げます。」、場面⑤の「お貸して差し上げましょうか。」、場面⑨の「駅まで送って差し上げます。」という表現である。上記の挙げた表現は日本人が全て不自然でおかしい表現だと言った人が多かった。そのため、用いない方が適切である。

### 5.2 調査2の結果

5.1の結果は、日本人には「へりくだりすぎている」ので、違和感があり失礼だと感じるということがわかり、更なる練習が必要であることがわかった。

タイ人日本語学習者が回答した表の文章は文法的に間違いではないと日本人がコメントした。場面で見ると、場面②「私が案内させていただきませんか?」、場面③「ご紹介して差し上げます。」、場面⑤「お貸してさしあげましょうか。」、場面⑥「手伝わせていただけませんか?」、場面⑦「持たせていただけませんか?」、場面⑧「データをお送りいたします。」、場面⑨「駅まで送って差し上げます。」又は、場面⑩「貸させてくださいますか?」である。これらの表現は日本人にとって、不自然な表現で日常生活ではあまり用いない表現である。さらに、違和感も表す表現だとのコメントが寄せられた。

また、日本人はタイ人学習者が二重敬語を使用することに違和感ないということに驚いた。タイ人日本語学習者の回答はよく二重敬語を使用した。日本人はあまり二重表現の回答にはコメントしなかった。その上、日本人がタイ人の二重敬語を使用した表現に賛成したことが分かった。

さらにタイ人日本語学習者の謙譲語がまだ文法的に間違っている表現で回答した人が多いことが分かった。各場面でのタイ人が回答した答えは少なくとも10%ずつ、最も55%までの場合もあることが分かった。

以上のように、全体的に見るとタイ人がまだ母国語の概念を用いている人が多いことが明らかになった。また、タイ人はだいたいみんな謙譲語をよく使えていたが、間違っていると多く、理解不足、練習不足が目立った。タイ人が日本語の謙譲語にさらに深く練習しなければならないということが分かった。つまり、日本語の謙譲語の概念や日本人の考え方、その表現と使い方について、日本人にとって違和感のある表現はどのような表現なのか、なぜ違和感を覚えるのか、どのような謙譲語の使い方がよいのかなど、指導した方がよいと思った。

## 6. 終わりに

本研究によって、タイ人学習者は日本語の謙譲語の概念や使い方に関して指導が必要であることがわかった。また、調査の対象としたのは大学生であったため、実生活では謙割語を使うことは少ないこともわかった。そこで、今後の研究としては、敬語がよく使われる日本の職場での日本語の敬語やビジネス日本語の実態に関して研究したいと考えている。

## 注

1. 調査結果で各場面のグラフの「その他」のところはタイ人日本語学習者が回答した答えが日本語文法的に間違った表現である。
2. 調査結果のところに、こちらのシンボル (  ) でマークされた場面がタイ人特有の誤用がある場面である。
3. 調査結果のところに、各場面のグラフの中にある円グラフは日本人の満足度は色々で表す。それは、黄色=いいと思う、グレー=少し失礼、黒い=失礼 という意味である。

## 参考文献

- (1) 川岸克己 (2009) 「敬語の現状, 敬語体系における相似的階層構造」 2009-1-1,2.  
[https://core.ac.uk/display/229554039?utm\\_source=pdf&utm\\_medium=banner&utm\\_campaign=pdf-decoration-v1](https://core.ac.uk/display/229554039?utm_source=pdf&utm_medium=banner&utm_campaign=pdf-decoration-v1) (2022年2月16日確認)
- (2) 国際交流基金 (ジャパンファウンデーション) 松井・優樹 「メッセージ」,  
<https://hakuhodo-jplang.org/jp/messages> (2022年2月15日確認)
- (3) ターゲ・ロッサデイ (2005) 「不可解な「謙譲」, 日本語の敬語とタイ語の敬語」  
2005-10-30, 79.
- (4) 文化審議会答申 (2007) 「敬語の重要性, 敬語の指針」 2007-02-02,5.  
[https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kokugo/hokoku/pdf/keigo\\_tosin.pdf](https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kokugo/hokoku/pdf/keigo_tosin.pdf)  
(2022年2月16日確認)
- (5) **Bunpraseach Pimpaporn (2007) “คำที่แสดงความรู้สึกในภาษาไทย, การใช้คำเพื่อแสดงความรู้สึกในภาษาไทย” , vol.2, no.5.,2.**
- (6) Borisutbuathip Peerasek, “การแบ่งระดับภาษา, ระดับภาษา” ,  
<https://bit.ly/3rvra5K> (2022年2月15日確認)

## < 要旨 >

วิจัยฉบับนี้จัดทำขึ้นโดยมีวัตถุประสงค์ 3 ประการดังนี้

ประการแรกเปรียบเทียบและวิเคราะห์ความแตกต่างของการใช้คำถ่อมตนภาษาญี่ปุ่น(謙讓語)ของชาวญี่ปุ่นและชาวไทยที่เรียนภาษาญี่ปุ่น  
ประการที่สองสำรวจการนำคำถ่อมตนในภาษาญี่ปุ่น(謙讓語)ไปใช้จริงของชาวญี่ปุ่นและชาวไทยที่เรียนภาษาญี่ปุ่น  
เมื่อนำไปใช้จริงแล้วจะเกิดปัญหาหรือไม่อย่างไรบ้าง  
และประการที่สามทราบถึงควรระวังและจุดที่ควรปรับปรุงของชาวไทยที่เรียนภาษาญี่ปุ่นใช้คำถ่อมตนในภาษาญี่ปุ่น(謙讓語)  
เพื่อให้สามารถนำไปสื่อสารได้อย่างเป็นธรรมชาติ และมีประสิทธิภาพมากยิ่งขึ้น

จากผลการสำรวจแบ่งออกได้เป็น 4 ประเด็นดังนี้

ประเด็นแรกคือประเด็นแนวความคิดในการใช้ภาษาของชาวไทยที่ส่งผลไปถึงการใช้ภาษาญี่ปุ่น  
จากผลสำรวจพบว่าชาวไทยนิยมใช้ประโยคขออภัยโดยสุภาพที่แสดงถึงการยกย่องคู่สนทนาอย่าง เช่น ไวยากรณ์ที่ชาวไทยนิยมใช้อย่าง ~てくださいませんか และ ~さしあげましょうか ในภาษาญี่ปุ่น หากนำไวยากรณ์มาแปลเป็นภาษาไทยจะให้ความหมายว่า 「1. ~てくださいませんか = กรุณาให้ผม...ได้ไหมครับ และ 2. ~さしあげましょうか = ...ให้ไหมครับ」  
ซึ่งในภาษาไทยถือว่าทั้งสองไวยากรณ์นี้เป็นคำที่สุภาพและแสดงถึงความเคารพคู่สนทนาซึ่งอิทธิพลจากภาษาแม่ดังกล่าวได้ส่งผลไปถึงการใช้ภาษาญี่ปุ่นของชาวไทยที่เรียนภาษาญี่ปุ่นอีกด้วย ดังนั้นจึงทำให้เกิดความไม่เป็นธรรมชาติเกิดขึ้นเมื่อใช้ภาษาญี่ปุ่นในบางกรณี ประเด็นที่สองคือประเด็นความไม่เป็นธรรมชาติของประโยคภาษาญี่ปุ่น จากผลสำรวจพบว่าชาวญี่ปุ่นเห็นว่าตามหลักไวยากรณ์แล้วชาวไทยสามารถใช้ภาษาญี่ปุ่นได้เยี่ยมแต่มีความไม่เป็นธรรมชาติอยู่ในประโยคที่ใช้ ซึ่งประโยคที่ชาวไทยใช้ตอบแบบสำรวจนั้นเป็นประโยคที่ชาวญี่ปุ่นไม่นิยมใช้ในชีวิตประจำวัน ประเด็นที่สามคือประเด็น ชาวไทยใช้ “การใช้คำยกย่องซ้อนกัน”(二重敬語) ได้อย่างดีเยี่ยม จากผลสำรวจความคิดเห็นของชาวญี่ปุ่นพบว่าชาวไทยใช้ “การใช้คำยกย่องซ้อนกัน” หรือ 二重敬語 ในภาษาญี่ปุ่นได้อย่างดีเยี่ยม อีกทั้งประโยคที่ชาวไทยใช้นั้นเป็นธรรมชาติและมีความเป็นธรรมชาติ ประเด็นที่สี่คือประเด็น ชาวไทยมักใช้คำถ่อมตนภาษาญี่ปุ่น(謙讓語)ผิดหลักไวยากรณ์ จากผลสำรวจในกลุ่มของชาวไทยที่เรียนภาษาญี่ปุ่นพบว่า การใช้คำถ่อมตนภาษาญี่ปุ่น(謙讓語)ในสถานการณ์ต่าง ๆ ชาวไทยได้ตอบแบบสอบถามโดยใช้ภาษาญี่ปุ่นที่ผิดหลักไวยากรณ์ อยู่ร้อยละ 10 ถึงร้อยละ 55 ซึ่งจัดอยู่ในเกณฑ์มาก

# バーチャルライバーの発展についての研究

## —にじさんじを例として—

エン シンエツ

### A Study on the Development of Virtual Livers -The Case of Nijisanji-

YUAN XINYUE

キーワード：バーチャルライバー，二次元文化，運営戦略，2D 技術

#### 1. はじめに

日本は高度なアニメ技術を駆使し、ライブ配信、動画作成と融合して「バーチャルライバー」という新しい産業を生み出した。バーチャルライバーは、その開発期間の短さと急速な普及により、これまであまり研究されてこなかった。しかし、これまでに業界全体で生まれた VTuber は1万人超とも言われ、個人勢・企業勢を問わず日々さまざまな配信者がしのぎを削るレッドオーシャンと化しているこの業界にも、まだまだ可能性があることを思い出させてくれた存在とも言えよう。現代においてバーチャルライバーの活躍は、無視できない現象であり、今後ますます発展していくと考えられることから、本研究では今後の研究の基礎としてその発展について考えていきたい。具体的には、バーチャル会社である「にじさんじ」を取り上げ、配信の際に起こった事故、たとえば、言い間違いによる騒ぎなどを例として取り上げ、その運営、管理などの問題点とその改善策を明らかにして、今後のバーチャルライバーの発展に寄与したい。

#### 2. 先行研究

インターネットや映像技術の進歩・発展に伴い、人々が様々なソフトウェアを利用する機会が増えている。私たちは、新しい情報を得たり、お気に入りのコンテンツを見つけたり、他の人と交流したり、自分自身の精神的な欲求を満たすために、これらのオンラインプラットフォームを利用している。それをきっかけにして、ビデオ機器を使って動画を撮影し、ナレーションや音楽、特殊効果などを後で加工し、動画サイトに掲載することで生計を立てる新たな職業が出現した。

##### 2.1 「バーチャル」の概念

「バーチャル」というのは「仮想の」「インターネット上の」などという意味であり、実在しないものの、あたかも実在するかのように現実そっくりで作られていることを指す語である。はじめて「バーチャル」という概念が現れたのは古くて、1958年である。これはアメリカのバーチャルバンド Alvin and the Chipmunks が始まるである。1958年に、作成者のロスバグダサリアンが自分の声の録音を加速して、「the Chipmunks の声」を実現した。さらに、2015年には、彼らを原型としたアニメ映画『ALVINNN!!! And the Chipmunks』が上映された。

それ以来、素材を録音した多くのバーチャルバンドが出現した。コンピュータアニメーション、従来のアニメーション、およびボカルのミキシングと操作が一般的な機能だ。

1980年代には、アニメと日本のアイドル文化によって、初音ミクなどの「バーチャルアイドル

ル」も出現した。

バーチャルのメンバーは、独自の個性、声、歴史、およびプレイスタイルを備えたアニメーションキャラクターとして描かれている。たとえば、Chipmunks のリーダーであるアルビンは、いたずら好きである。

また、初音ミクなど明確な性格を持っていないこともある。彼女のあり方はファン次第なので、ボーカロイドのユーザーが作った曲ごとに個性が変わる。

## 2.2 YouTube の誕生

このような映像番組が広く配信され、知られているソフトウェアが、海外の有名な動画サイト「YouTube」に由来することから、これらのビデオの作成者は、YouTuber と呼ばれている。

YouTube は 2005 年 PayPal の元従業員である 3 人によって設立されたものであり、急激な成長を経て一年後の 2006 年には一日の総再生数が 1 億を超え始める。

YouTube で、配信者が作成した風景や動物、人などを世界中の人が見ることができるものである。配信者が人である場合、初めは実在する人が配信していたが、バーチャルライバーの登場により、実在しない人すなわちバーチャルライバーによる配信が始まった。

## 3. バーチャルライバーについて

バーチャルライバーは基本的に 2 つの部分に分けられる。ひとつは、モデリングソフトで作られたアニメキャラクターである。もう一つは、「中の人」と呼ばれるアニメキャラクターのモーションキャプチャーと声優を担当する人である。

バーチャルライバーはその名の通り、大手オンラインプラットフォームのリアルなキャストとは異なり、直接人前に出ることなく、表情や動作、マナーなどを瞬時に撮影できる電子機器を装着してイメージを提示し、撮影データを特定のソフトウェアで処理して、2D または 3D のバーチャルキャラクターとして画面に投影する生放送のキャストのことである。

中の人自身が身につける電子デバイスは、身だしなみや体の動き、微妙な表情やしぐさまで瞬時に捉えることができるのである。データを取り込むと、特定のソフトウェアで処理され、2D または 3D のキャラクターとして画面に映し出される。キャラクターの声は、その中の人自身が吹き込んだり、さらに特定の音声処理ソフトウェアによって特定のトーンにトランスコードしたりすることができる。中の人はこのモデルを使って、生放送で歌やダンス、ゲーム、定期的なイベントなど、さまざまな映像番組を、架空のキャラクターのナレーション付きで制作するほか、特定の機会に生放送を行うこともある。

### 3.1 バーチャルライバー名前の変化

バーチャルライバーはもともと絆愛<キズナアイ>自身を指す語であった。2017 年末以降では主にインターネットやメディアで 2DCG や 3DCG を用いて動画投稿、生放送で行う配信者の総称を指す語として使用されていた。それから、2021 年現在では活動の場は YouTube に限定されない場合もあり、バーチャルライバーという名前に変わった。

### 3.2 バーチャルライバーの始まり

「バーチャルライバー」の始まりは、Ami Yamato という YouTuber である。Ami Yamato は 2011 年から、フェイシャルキャプチャーで作成したキャラクターを使って、何気ない会話で日常を伝えるという動画を作っていた。彼女は、このようなスタイルの配信を最初に行った YouTuber だと言われている。

日本における最初のバーチャルライバーは、2013年から2014年にかけて、世界最大の気象会社であるWeathernewsがKinectベースのモーションキャプチャーシステムを使って制作したバーチャル気象キャスター「WEATHEROID TypeA Airi」である。Airiは天気予報など純粋な商業コンテンツであるため、厳密に言えばバーチャルライバーには分類できないが、モーションキャプチャーのキャラクターを使った生放送やTwitterでの交流は、日本ではまだ先駆的な試みと言える。

しかし、「バーチャルライバー」という概念は、絆愛がYouTube配信を行う際に自身を称したことに始まる語である。バーチャルライバーというカテゴリの中で、自身を世界最初のバーチャルライバーと位置付けた。つまり、バーチャルライバーの原義は絆愛であるといえる。

バーチャルライバーの始まりである絆愛は、2016年11月末に自身のYouTubeチャンネル「A. I. Channel」を開設し、その後、ゲーム動画を中心とした「A. I. Games」をスタートさせた。現在、絆愛のYouTubeチャンネルのフォロワー数は400wを超え、動画の総再生回数は1億回を突破した。2018年には、日本の観光を促進する「Come to Japan」キャンペーンのアンバサダーにまで就任し、その影響力は日本を飛び出して欧米や中国語圏の文化界にまで及んでいるのだ。絆愛がバーチャルキャスターを開拓してから、VTuberは飛躍的に成長を始め、2019年2月にはバーチャルキャスターの総登録者数が7,000人を突破しました。日本のバーチャル・アンカー現象は、海外のACGシーンにも徐々に影響を及ぼしている。

### 3.3 バーチャルライバーの初期発展変化

2016年末に絆愛がバーチャルライバーの流れを世に問うてから約1年、業界はより多様な方向へ変化している。2016年末から2017年末にかけて、絆愛以外、同じ成功した他の4つのバーチャルライバーが出現した。絆愛とともに、その早期デビューと膨大な登録者数ため、ファンの間ではバーチャルライバー世界の「四天王」と呼ばれるようになった。

さらに、四天王の一人である「バーチャルのじゃろり狐娘 Youtuber おじさん」の成功は、そのバーチャルライバー業界に大きな変化を引き起こした。彼が出現する前のバーチャルライバーのほとんどは、その背後にプロの会社がある。会社は、ライバーに録音機材や会場を提供し、ファンのためにコンテンツをデザインし、プラットフォームを運営し、バーチャルホストに技術的・商業的支援を行っている。これは「企業勢」と呼ばれている。その反対で、完全に個人的な利益に基づいて、すべての仕事を自分自身で行うライバーたちは「個人勢」と呼ばれている。「バーチャルのじゃろり狐娘 Youtuber おじさん」がデビューする前に、バーチャルライバーを成功させるには、高価なモデル機器やプロの運営が必要だと思われがちだった。しかし、彼の出現によって、簡単なモデルを持った一般人でも優れた映像を制作できることが証明された。バーチャルキャスターの視聴者は、かわいい容姿よりも内容の革新性を重視していることを世間に知らしめたのである。

絆愛は2016年12月に初めて活動を行い、翌年2017年12月7日にYouTubeのファン登録者数100万人を達成した。2017年は絆愛の単独公演が行われ、絆愛の成功によって、バーチャルライバーという新しいYoutuberタイプとして多くの可能性が世界に認められるようになった。そして、絆愛と「四天王」に続いて多くのバーチャルライバーがデビューすることとなった。この時代には、企業もこの市場に参入することとなった。

VTuberトップ50の合計チャンネル登録数 (万人)

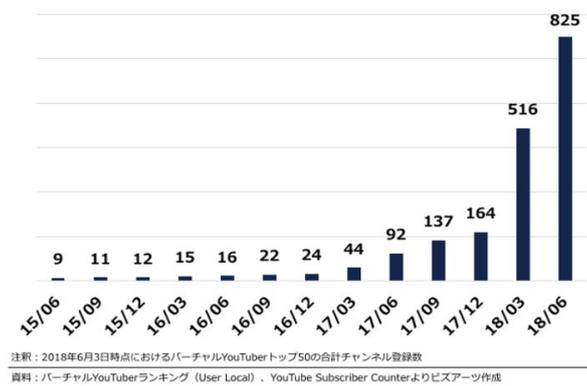


図1 2018年6月3日時点におけるバーチャルYouTuber トップ50の合計チャンネル登録数

### 3.4 バーチャルライバーが流行になる原因

まず、二次元のキャラクターが現実の人間に比べてより魅力的な外見を持っているため、架空のキャラクターを心の支えとしている二次元ファンの心を掴みやすい。さらに、バーチャルライバーという特殊な表現形式は、伝統的な二次元キャラクターを超える魅力をもたらすことができる。

また、伝統的な二次元キャラクターは、それに関連する映画・テレビ作品において、視聴者に視覚的に伝えられることが多く、これらの作品はあらかじめ設計されたカメラ台本に厳格に従って制作されているため、二次創作は固定されたカメラ視点と内容で表現されることになった。伝統的な二次元キャラクターが画面に登場する時間は、比較的限られている。従来の二次キャラクターと比較すると、バーチャルライバーの主な活動方法は動画とライブ配信を組み合わせたもので、視聴者との交流の時間やコストに基本的に制限はない。モデル技術の活用により、中の人表情をより確実に捉えることができるため、キャラクターの表情の豊かさは、伝統的な二次元キャラクターに負けないものとなっている。

精神的な面では、伝統的な二次元キャラクターは精神や信仰といったアイデンティティをもたらすため視聴者たちから愛されるが、やはり現実とはかけ離れているので、視聴者たちにとって本当の感動を実現するのは難しい。それに対して、バーチャルライバーの配信内容のほとんどは、彼らの経験や、現実の社会的な出来事であるため、伝統的な二次元キャラクターよりも視聴者の心に響く可能性が高いということである。例えば、元コンビニ店員である「バーチャルのじゃろり狐娘 Youtuber おじさん」は、その視聴者との最初のビデオでは、コンビニで働いた辛い経験を語り、「世の中、世知辛い のじゃ ー！」という名言が飛び出した。この言葉は、数え切れないほどのアルバイトの苦労を物語っており、観客はすぐに納得した。

### 3.5 バーチャルライバーのモデル技術の発展変化

2018年2月7日、にじさんじから1期生がデビューしたが、スマートフォンで2Dモデル技術を発明したことにより、また新たな活動方法、つまり2Dモデルによる配信が出現することとなった。

表1 初期のバーチャル YouTuber と現在のバーチャルライバーの比較

	バーチャル YouTuber (初期)	バーチャルライバー
活動方法	全身のトラッキングを用いた 3 モデルを使用した	スマホで 2D モデルを採用する
活動特点	動画 3D で全身が動ける 関与方法：コメントを残す	配信 2D で上半身だけが動ける 関与方法：コメントでやりとり
団体	企業勢	企業勢・個人勢・団体勢

「にじさんじ」 ⇒スマートフォンで 2D モデル技術を開発

スマートフォンで 2D モデル技術を開発する以前は、バーチャルライバーは全身のトラッキングを用いた 3D モデルを使用しており、動画で活動していた。動画で活動するライバーは動画勢と称する。3D モデルで全身が動くことができる一方で、リスナーとの関与方法はコメントを残すことのみである。しかし、現在、バーチャルライバーはスマートフォンで 2D モデルを採用しており、配信によって活動している。もちろん、3D モデルも利用できる。2D モデルでは上半身だけが動けるが、リスナーとコメントでやり取りをすることができるという点で 3D とは異なる。そして、この技術が開発された後、個人と団体という新しいタイプも現れた。それ以前は企業のみが運営していた。

絆愛は動画勢の代表として、2022 年 2 月 26 日無期限活動休止を発表した。これは、果たして動画で活動する方法の衰えを意味するのだろうか。

### 3.6 動画勢が衰える理由

筆者は、以下の 3 点の理由から、動画勢の衰えは避けられないことだと考える。まず、第一に経費の問題である。動画勢は 3D モデルで活動しなければならないため多額の費用がかかることとなる。ビジネスならともかく、個人のバーチャルライバーにとっては、決して少なくない。資金力のない新人を一部制限することとなるだろう。第二に、内容面においては、動画内容は他人とぶつかり易く、差別化することが難しい。そのため、特別な印象を与えることは難しいといえる。さらに、動画制作のインスピレーションは限られており、すべての内容が面白いという保証はない。第三に、動画の時間は通常 10 分以内であり、リスナーにとっては短い。それに、リスナーがライバーに関与する方法はコメントを残すことのみであり、強い距離感が感じられる。

### 4. にじさんじについて

にじさんじは角田陸氏が学生起業家として 2017 年 5 月に創業した ANYCOLOR 株式会社旗下のバーチャルライバープロジェクトである。『にじさんじ』は、元々 ANYCOLOR 株式会社が開発する iOS 向けの誰でも VTuber になることができるスマートフォンアプリである。初めはあくまでアプリとしての「にじさんじ」を宣伝するための、「公式バーチャルライバー」として募集されたが、採用された「にじさんじ 1 期生」が人気を博したことから、タレント事業への運営へシフトした。現在は彼らの代表的なプロジェクトとなった。田角社長はのちに当時について「何の迷いもなかった。やるしかねえ」という心境だったと語っている。

「魔法のような、新体験を」のポリシーのもと、2D・3D モーションの自社開発などテクノロジーを用いたエンタメ企業として躍進。終了・撤退したサービスもあったが、主軸の「にじ

さんじ」事業は業界最大手の一つに成長し、日本発の Vtuber 文化の一翼を担う存在となった。

#### 4.1 にじさんじの特徴

世界有数のバーチャルライバー企業であるにじさんじは、そのライバー数、ファン数において、驚異の実績を誇っている。現在、Youtube で活動しているにじさんじはライバー数が 121 名であり、合計 4153 万人以上のファンがいる。これは延べ数であり、実際には 1 人のファンが複数のライバーを登録している。しかし、これはにじさんじの影響力を示すには十分な数であると言えよう。

よって、にじさんじの最大の特徴はその人数の多さであると言える。にじさんじが出現した時期には、すでに多くの企業が活動を始めていたが、8 人のライバーを一気にデビューさせたのは、にじさんじのみである。それだけでなく、3 月 15 日には、第 2 期生の活動が始まり、2 期生は 10 名のライバーがデビューした。1 ヶ月余りで 18 名というのは、実に不思議であるとリスナーたちに言われた。現在は、にじさんじ所属のライバー数が 100 人以上であり、Vtuber のキャラクター設定はより奇抜である。つまり、多種多様なキャラクターを同時に立ち上げることができるのが、大量にキャラクターを持つことのメリットなのである。登場人物の数が多ければ、選べる選択肢が多いからである。さらに、徐々にデビューし続ける新人がその新鮮感を保つことで、視聴者を退屈させないというメリットもある。

一般的な Vtuber 会社は、同期で立ち上げられたライバー数が多くても 5 人だけで、5 人を超えたら、それらを 1 か月や 2 か月内に 1 個ずつ立ち上げる。それから、少なくとも、2 か月後、新しいライバーをデビューさせ続ける。にじさんじのような運営戦略はめったにない。

表 2 nijisanji、hololive と ENTUM 三つ会社デビューしたライバーの人数とその時間の比較

	nijisanji	hololive	ENTUM
一期生人数	8	5	4
一期生デビュー時期	2018. 2. 8	2018. 5. 13-2018. 6. 2	2018. 6. 27
二期生人数	10	5	1
二期生デビュー時期	2018. 3. 15	2018. 8. 8-2018. 9. 16	2018. 8. 4

その特徴の二つ目は所属ライバーの活動自由さである。にじさんじは、ライバーが規模の大きなイベントを行う際あるいは個人的なプロジェクトにおいてのみ協力する。そのため、Vtuber が人間関係において個人の選択に大きく依存することを可能にする。デビュー当時は、同世代の仲間とのつながりを選ぶ人が多く、コミュニティ内でイベントを開催する自由度も高い。

にじさんじはライバーの配信がメインのプロジェクトだが、バラエティ番組を中心とした映像コンテンツも制作している。配信をもとに公式漫画の制作やオフラインイベントも行うなど、多方面で活躍している。例えば、意外な業界の工場見学をレポートする「にじさんじの B 級バラエティ (仮)」(隔週火曜日配信) は、MC の早瀬走 (はやせ・そう) 氏とイブラヒム氏がゲストとして登場するライバーたちと織りなす絶妙な力の抜け具合と独特の空気感が人気だ。

また、「にじクイ」などのクイズコンテンツでは、関係性の深いライバー同士がチームを組み、普段の配信とは違う一面を見せてくれることもファンとしては嬉しい。

にじさんじが最も賞賛されるのはそのライバーたちの大胆さである。2018 年前半、多くの

Vtuber は自分の設定が中心であり、配信も非常に慎重であった。一方、にじさんじのライバーたちは、設定に縛られることはなかった。かなり個性的であることが、「にじさんじ」の特徴の一つであった。にじさんじの出現は、当初単調だった Vtuber シーンに新たな見どころをもたらした。Vtuber がコミュニケーションできるという特徴を最大限に利用した。

一期生として月ノ美兎は絵画や美術、B 級映画に関する深い知識をもち、さらに文筆の才能もあったため単著でコラム集も発表した。アーティストとしてソニー・ミュージックからメジャーソロデビューも果たしている。真骨頂は「体験レポ」と呼ばれる雑談である。イラストや自ら撮影した写真をもとに、日々の体験を独特の感性と言葉で伝える配信には、他に類を見ない面白さがある。その感受性の高さからゲーム実況でもゲームシナリオの読み解きにも定評がある。「質感がすごい」と言われる「アイドルマスターシャイニーカラーズ」のシナリオ考察には頷かされる点が多い。彼女の独特な配信で、当時の Vtuber の配信状況を一変させ、新たな放送のあり方を生み出したという。実に、にじさんじを代表するライバーである。

もう一人は 2022 年 5 月末にデビューしてからわずか約 2 週間でチャンネル登録者 100 万人を突破したライバー・壱百満天原サロメである。お嬢様になりたい一般人というキャラクターで「ですわ!」という中毒性のある語尾、初配信で自身の胃カメラ画像を公開して、ほぼ毎日「バイオハザード 7」のゲーム実況をするなど、多くの人々に衝撃を与えた。壱百満天原サロメは、全世界の Vtuber において、世界で最も早く 100 万人を突破したライバーである。

さらに、急速に Vtuber を出し続け、既存のマーケットにとらわれず、未開拓のマーケットにリソースを投入しているところである。にじさんじは以前にはあまりない男性 Vtuber が多く追加され、さらにゲームで配信する Vtuber も立ち上げた。その男性ライバーは容姿端麗なキャラクターにより、女性視聴者を獲得すると同時に、そのゲームの強さから、多くの男性ファンも獲得した。

## 4.2 にじさんじの海外発展

現在、にじさんじは韓国、インド、インドネシア、英語圏と中国で配信するライバーも活躍している。日本在住の外国語話者から募集するのではなく、国籍は問わず、現地に住んでいる人から募集する。なぜなら、現地在住のほうが現地の言語を操れるだけでなく、より交流しやすいと考えたからである。つまり、このライバーたちは少なくとも二か国語以上に堪能であるということになる。

中国のような海外のネットに接続できない国であれば、にじさんじは現地の有名な会社と合作する。そうすればプロモーションしやすいし、現地の会社があれば、管理もしやすくなる。

## 4.3 にじさんじの問題

人数の多さはにじさんじの強みの一因であるが、問題を起す最大の原因でもある。にじさんじは新人デビューのスピードも間に合わず、作られた 2D モデルのレベルがバラバラであり、また全員 3D モデルがあるわけではない。これらのことは、会社所属のメンバーとして想像できないことである。また、デビュー前の育成指導がないため、プロの意識が皆無に等しい。さらに、初期メンバーの多くは配信をアルバイトとして行っており、ライブ配信も不安定であった。

にじさんじの 2 つ目の問題点は採用基準である。初期のにじさんじは面接の結果のみ採用可否を判断する。ネットユーザーからは、採用の良し悪しは運に左右される宝くじのような方式と視聴者たちに評された。

また、3 つ目の問題として、スタッフの育成に力を入れなかったことが挙げられる。宝くじのような採用方法であるため、レベルに差があるのは当然だが、初期のライバーたちは、基本的に自分の腕一本で、運営の助けやビジネスを使った人気取りはほとんど見られない。

#### 4.4 にじさんじのライバーについての事故

ライバーたちは全体的にプロ意識に欠け、放送の準備が不十分であった。ライバー自身の誤操作によって、ネットでの炎上を招くことが度々あった。

例えば、ライバーの真堂雷斗は事前に背景調査をしておらず、その中の人が行なっている数々の違反が暴かれてツイッターに証拠となる画像が明らかになり、ネットで大炎上することとなった。そのため、真堂雷斗は3月8日のデビューからわずか5日での解除として注目を集めた。この件で、デビューした同期と後輩に迷惑をかけることとなった。

同様に、渋谷ハジメはそのプロ意識の低さと運営の管理不行き届きにより、配信中に同じ会社所属ではない「四天王」に不用意な発言をし、ネットで炎上することとなった。その行為によって、デビューした同期と他会社のライバーに迷惑をかけることとなった。

#### 5. 本研究のまとめ

今回はバーチャルライバーの生まれ、発展変化と流行になる原因から分析を行った。それから、にじさんじというバーチャルライバー会社を例としてその「人数の多さ」「活動の自由さ」「大胆さ」という三つの特徴から分析を行った。これらの特徴はにじさんじの強みであり、にじさんじをいろんな日本Vtuber会社の中から際立たせた。さらに、海外での活動も展開している。しかし、その特徴は同時にその弱みともいえる。そのVtuberと運営の未熟さから、事故を招いた。

今後は、バーチャルライバーの歴史の中で起こした大事故の詳細とその結果を分析し、バーチャルライバー会社の運営問題、ライバーとその会社の収益源問題についてさらに詳しく調査していく。そして、今後考えられる発展の方向性と改善点を提案する。

#### 6. 参考文献

- 1) 吉川慧(2022)「ANYCOLOR が東証グロース上場、時価総額 1652 億円に。躍進続ける「にじさんじ」の魅力とは？」(<https://www.businessinsider.jp/post-255195>) 2022年6月24日閲覧。
- 2) 高橋佑司(2018)「iPhone X アプリでバーチャル Youtuber に！「にじさんじ」公式配信声優を募集」(<https://panora.tokyo/panora.tokyo/49889/HPC-index.html>) 2022年6月21日閲覧。
- 3) Freaks. id(2019)「自分がハッピーなこと」と「人をハッピーにさせること」だけの世界を作るーU25 起業家に聞く「起業・新基準」(<https://thebridge.jp/2019/09/5-standards-interview-vol8-riku-tazumi-ichikara>) 2022年6月21日閲覧。
- 4) 南文枝(2018)「知恵蔵「Vtuber」の解説」(<https://kotobank.jp/word/VTuber-1999704>) 2022年1月13日閲覧。
- 5) 村上万純(2018)「異色のバーチャル YouTuber 集団「にじさんじ」なぜ人気？ 「月ノ美兎」生んだ VTuber 企業に聞く」(<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/1804/23/news076.html>) 2022年6月20日閲覧。
- 6) City News Service(2019)「Alvin and the Chipmunks Receive Hollywood Walk of Fame Star」(<https://www.nbclosangeles.com/news/alvin-and-the-chipmunks-hollywood-walk-of-fame-star/165323/>) 2022年1月15日閲覧。
- 7) Korkis, Jim(2013)「Animation Anecdotes #104」(<https://cartoonresearch.com/index.php/animation-anecdotes-104>) 2022年1月15日閲覧。
- 8) Real Sound(2018)「バーチャル YouTuber デビューにはいくら必要？ 基礎知識&手軽に挑戦できるアプリを紹介」(<https://realsound.jp/tech/2018/05/post-196677.html>) 2022年1月13日閲覧。

## <要旨>

随着时代与科技的发展，出现了一种以制作视频，通过投稿社交平台或者视频网站的群体。他们被称作为视频媒体制作人。其中，不乏有依靠视频创作来谋生的人。而日本通过将这份职业与先进的动画技术相结合，创造了一个"虚拟主播"这一新兴产业。

虚拟主播，顾名思义，与主要网络平台上的真人不同，真人并不亲自出场，而是通过佩戴一个动作捕捉设备来即时捕捉面部表情、动作，并通过特定的软件对捕捉到的数据进行处理，运用提前制作好的 2D 或者 3D 动漫形象，作为一个虚拟人物被投射到屏幕上来进行活动。

中之人可以利用这种模式制作各种视频节目，如现场直播歌曲、舞蹈、游戏等。

从 2016 年 11 月 29 日，由绊爱投稿了第一个视频起，虚拟主播就逐渐进入了人们的视野。虚拟主播的出现，在一开始就受到了大量的关注，至今为止虚拟主播行业呈现爆发式的增长。能做到如此迅速的发展，虚拟主播的背后必定有值得研究的地方。但由于其发展时间短，发展迅速，因此学术界鲜有关于虚拟主播的研究，相关领域处于相对空白的阶段。因此本文尝试从虚拟主播的发展变化进行解读，以目前作为虚拟主播巨头公司的"nijisanji"（中文名：彩虹社）为例，分析彩虹社的发展变化、特点，阐明其运营管理中存在的问题以及改进措施。希望通过这一研究，能够让虚拟主播能够取长补短，与其他文化相交融，进一步发展。

# ブラジル人学習者による日本語授受表現の使用

サカモト アマンダ アケミ

## Uses of Giving and Receiving Expressions by Brazilian Learners of the Japanese Language

Amanda Akemi Sakamoto

キーワード: 授受表現・ブラジル人学習者・日本語・使用

### 1. はじめに

現代の世界では、外国語学習の重要性を理解するのは難しくはない。また、複数の言語を話す(学ぶ)人々も多く存在する (Johnson, 2017)。National Standards in Foreign Language Education Project (NSFLEP) (2014)によると、外国語とは、主に教室で学習され、教育が行われる社会で話されていない言語のことである。Moeller & Catalano (2015)によれば、外国語を学ぶことで、個人は効果的で創造的にコミュニケーションができるし、本物の文化の言語を通じて実際の状況に参加することができる。しかも、外国語を学ぶことで、別の視点が得られ、学際的な異文化理解を促進する。言語を勉強することは学習者にとって言語的および社会的知識を獲得する機会だ。社会的知識を得ることによって、いつ、どのように、なぜ、誰に、何を言うのが適切かを知ることができる (NSFLEP, 2014)。

このレポートでは、外国語学習の中でも特にブラジル人(ポルトガル語話者)による日本語の学習について調査する。ブラジルでは日系移民の子孫が多く、日本語は学習者の多い言語の一つであるが、ポルトガル語と日本語は大きく違う言語であり、その習得は簡単とは言えない。この研究では、ブラジル人の日本語学習者にとっても習得が難しい表現の一つ、授受表現について調査する。

### 2. 先行研究

#### 2.1 ブラジルにおける外国語としての日本語学習について

ブラジルでは、日本語教育は日本人移民の到着から始まり、対象者はその子孫だった (Niwa, 2004)。Morales (2008)によると、第二次世界大戦の始まりまでに(1908-1941)、日本語は移民の子孫に母国語として教えられ、戦争のあと、先祖の文化と言語を伝えることを目的として、継承語という観点から教えられるようになった。その後、1990年から始まった大きな変更により、外国語の選択科目として日本語を開講する公立学校が出現した。現在、ブラジルの日本語学習者の25%はその機関で勉強している (Yoshikawa, 2020)。

Morales (2009)によれば、2000年からは、言語の知識がない生徒(子孫と非子孫)の日本語学習への大規模な流入が起こった。そして、学習者のプロフィールの変化は、ブラジルでの日本語の教育に新たな変化をもたらし、それまで子孫の特権と見なされていた言語と文化の研究における民族的境界が排除された (Morales, 2009)。つまり、日系コミュニティとは関係のない教育機関の出現、および非日系の教師と学生の増加だ (Yoshikawa, 2020)。こうして、ブラジルの日本語の学習の数は増加してきた。

#### 2.2 授受表現について

ブラジル人の日本語学習者にとって習得が難しいものの一つが、授受表現である。例えば向井・松田 (2020)の調査によると、中級以上の日本語能力を持つブラジル人にとって、「語彙」、「漢字」、「助詞、動詞や形容詞の活用、受身、使役などの形態的要素」、「構文、語順、修飾詞などの頭語的要素」、「接続詞」、「慣用句」といった項目を大きく上回って難しいと回答されたのは、「敬語や授受表現などを含む談話文法」であった。本レポートでは、この授受表現に焦点を当てて、以下の議論を展開する。

Yamada (1996)によると、日本語の授受表現には、物事の実際の動きや所有物の転送など、授受の物理的な出来事を表す動詞、「あげる・くれる・もらう」がある。さらに、授受動詞は、

参加者がイベント、または動作をどのように認識するかを説明する助動詞の用途がある (Yamada, 1996)。この場合は、て形の動詞について、「～てあげる・～てくれる・～てもらう」という形になる。これらの授受動詞について、以下に説明する。

### 2.2.1 あげる・くれる・もらう

「あげる・くれる・もらう」の中で、「あげる」と「くれる」はどちらも「贈る」という意味だが、「くれる」の場合は話し手（または話し手の親密な交際社会に属する人々）が受け手だ (Mukai 2017)。そして、「あげる」の場合は、受け手は話し手ではない人だ。下に例文を挙げる。

- (1) (私は/が) マリナに本をあげた。
- (2) マリナは/が (私に) 本をくれた。

上のどちらの文でも、「贈る」行為を行うのは助詞の「が・は」でマークされた主語だ。そして「贈る」行為を受けるのは、「に」でマークされた間接目的語だ。しかし、文(2)では、「くれる」は常に話者に贈ることを意味するので、受け手の記述(私に)は免除される (Mukai, 2017)。一方、話者に近い交際社会に所属する人が受け手である場合も「くれる」が使われるが、この場合は、受け手が間接目的語として明記されなければならない。例えば下の文のような場合である。

- (3) マリナが妹に本をくれた。

さらに、「あげる・くれる」を含む文は、受け手に焦点を変更してこれが主語となり、動詞が「もらう」になることができる。逆に、あげ手は間接目的語になる。この反転は、話し手があげ手である場合を除いて、すべての場合に適切だ。理由は、「もらう」が、あげ手 (benefactor) の受け手 (benefited) に対する優しさの意味合いを暗示しているためだ (Mukai, 2017)。従って、(1) はこの反転が不適切だが、(2)、(3) は反転が可能である。

- (1)' マリナが私に本をもらった。(X)
- (2)' 私はマリナに本をもらった。(O)
- (3)' 妹はマリナに本をもらった。(O)

このような反転が起こり、主語が入れ替わった場合、文の焦点も入れ替わる。例えば、文(3)と(3)'は同じことを言っているが、焦点はあげ手(マリナ(3))から、受け手(妹(3)')に移っている。「あげる・くれる・もらう」を含む文に現れるあげ手と受け手、主語と目的語、そして文の焦点は、下の表にまとめられる。

表1 「あげる・くれる・もらう」の違い

動詞	あげ手 (benefactor)	受け手 (benefited)	焦点
あげる	主語 (が・は)	目的語 (に)	主語 (あげ手)
くれる	主語 (が・は)	目的語 (に)	目的語 (受け手)
もらう	目的語 (に)	主語 (が・は)	主語 (受け手)

### 2.2.2 ～てあげる・～てくれる・～てもらう

授受動詞は、他の助動詞と同様に、主動詞と接続助詞「て」をつなぐ助動詞として使用される。そして、「あげる・くれる・もらう」は、接続助詞として使われると、文の主語が誰かのために(～てあげる)、または自分・自分の近くの人のために(～てくれる)、行動を起こすことを示す (Mukai, 2017)。例えば下のような文である。

- (4) (私は) 弟にノートを貸してあげた。
- (5) リザが (私に) ケーキを焼いてくれた。

上の文では、主語はあげ手、つまり(4)では貸している話し手（私）、そして(5)ではケーキを焼いたリザである。そして間接目的語は受け手（benefited）である(Mukai, 2017)。また、元の動詞と同様に、受け手が話し手である場合、「～てもらおう」は使用されない（Mukai, 2017）。つまり、(4)は(4)'のように変更できない。

- (4)' 弟は私にノートを貸してもらった。 (X)  
(5)' 私はリザにケーキを焼いてもらった。 (O)

文(5)と(5)'は同じことを言っているが、焦点はケーキを作る人（リザ(5)）から、ケーキを作ったリザの恩恵を受けた人（私(5)')に移っている。

### 3. 動機・目的

前述の通り、日本語の授受表現は、ブラジル人の日本語学習者にとって習得が難しいものの一つである。その理由の一つは、ポルトガル語には、特に「～てあげる・～てくれる・～てもらおう」という授受表現がないということがある。つまり、ポルトガル語の場合、「～てあげる・～てくれる・～てもらおう」のように、授受動詞が他の動詞に付くことはない。例えば下のような日本語文の場合、ポルトガル語には「作ってくれた」のような文はない。従って、この文をポルトガル語文に翻訳するときは、授受表現を含まない文になる。

- (6) (日本語) リサが私にケーキを作ってくれた。  
(7) (ポルトガル語) Risa fez um bolo para mim. (リサが私にケーキを作った。)

そして、ポルトガル語では、「～てもらおう」という表現もない。従って、下のような日本語文も、(7)と同じようなポルトガル語文に翻訳される。

- (8) (日本語) 私はリサにケーキを作ってもらった。  
(9) (=7) (ポルトガル語) Risa fez um bolo para mim. (リサが私にケーキを作った。)

さらに、第1章で述べたように、「～てあげる・～てくれる・～てもらおう」のような授受表現には、受け手の感謝の気持ちが反映されている。しかしポルトガル語にこれらの表現がないということは、ブラジル人学習者がこれらの表現に反映される感謝の気持ちも理解しにくいということの意味する。ブラジル人の学習者にとって、そのような抽象的な概念を理解するのが難しいということである。

上記の点を踏まえて、このレポートでは、下の二つを調べることを調査の目的とする。

- ブラジルの日本語学習者は、授受表現「～てあげる・～てくれる・～てもらおう」を日本人と同じように使えるか。
- 日本語の授受表現「～てあげる・～てくれる・～てもらおう」を、これらの表現に含まれる感謝の気持ち表せるようにうまくポルトガル語に翻訳する良い方法があるか。

これらを調べるため、3つの調査を行った。下にその詳細を報告する。

## 4. 調査 1

### 4.1 調査方法

調査協力者は、ブラジル人日本語学習者が14人で、全員がパラナ連邦大学の大学生だった。これらのブラジル人日本語学習者は、日本語能力試験（JLPT）の3級以上を持っているか、持っていないかでも2年以上の日本語学習経験がある学生であった。日本人の協力者は12人で、全員が三重大大学の大学生だった。この調査1の調査目的は、ブラジルの日本語学習者は、授受表現「～てあげる・～てくれる・～てもらおう」を日本人と同じように使えるかということだ。また、協力者は19歳から50歳くらいまでの男女である。

調査方法は、ブラジル人は授受行動を含むポルトガル語の文を日本語に翻訳した。それらの問題文は全部で6つあったが、これらの文は Word ファイルに、ふりがなを入れて提示した。また、文の中の言葉を全て理解できるように、単語の意味を併記した。また、6つの問題文は、6つの干渉文 (distractors) に混ぜて提示された。

授受行動を含む6つの問題文の中で、2文はあげ手も受け手も他人とした。また別の2文はあげ手が「私」、受け手が他人とした。そしてまた別の2文はあげ手が他人、受け手が「私」とした。それらの問題文の例を下に示す。(協力者に提示されたのは斜体の部分だけである。)

- (8) a. あげ手も受け手も他人の文  
*Tanaka-san emprestou um livro para o Kato-san.*  
 あげ手：Tanaka-san (田中さん)  
 受け手：Kato-san (加藤さん)  
 授受行動：emprestou um livro (本を貸す)
- b. あげ手が「私」、受け手が他人の文  
*Eu assei um bolo para a Yamada-san*  
 あげ手：Eu (私)  
 受け手：Yamada-san (山田さん)  
 授受行動：assei um bolo (ケーキを焼く)
- c. あげ手が他人、受け手が「私」の文  
*Nana-san tirou uma foto para mim.*  
 あげ手：Nana-san (ナナさん)  
 受け手：mim (私)  
 授受行動：tirou uma foto (写真を撮る)

これらのポルトガル語の文を日本語に翻訳させた。日本人も授受行動の文を翻訳したが、日本人はポルトガル語がわからないので英語の文を日本語に翻訳した。例えば下のような文である。

(8b)' 日本人への問題文の例：*I baked a cake for Yamada-san.*

予想される回答例は、例えば(8b)の文なら、「山田さんにケーキを焼いた」(授受表現を使っていない場合)、または「山田さんにケーキを焼いてあげた」(授受表現を使っている場合)などである。調査1の目的は、ブラジル人は、日本人と同じくらい授受表現「～てあげる・～てくれる・～てもらう」を使うか、ということだが、問題文を日本語に翻訳する時に、どのくらい授受表現「～てあげる・～てくれる・～てもらう」を使ったかについて、ブラジル人と日本人の結果を比べた。ポルトガル語には「～てあげる・～てくれる・～てもらう」のような表現はないので、ブラジル人より日本人は授受表現「～てあげる・～てくれる・～てもらう」をたくさん使うと予想された。

#### 4.2 結果

ブラジル人の結果を下の表に示す。ブラジル人の日本語翻訳文の中で、授受表現「～てあげる・～てくれる・～てもらう」を使ったのは全体で42.2%だった。特に、あげ手が他人、受け手が「私」の場合は授受表現「～てくれる」が多く使われ、74.1%だった。

表2 ブラジル人学習者は授受表現をどのくらい使ったか

全体 (6文)	42.2%
あげ手も受け手も他人 (2文)	35.7%
あげ手が私、受け手が他人 (2文)	17.9%
あげ手が他人、受け手が私 (2文)	74.1%

それに対して、日本人の結果を下の表に示す。日本人の日本語翻訳部分の中で、授受表現を使ったのは全体で19.7%だけだった。また、ブラジル人と同じように、あげ手が他人、受け手が

「私」の場合は授受表現を多く使った。しかし、他の場合について、日本人は授受表現を全然使わなかった。

表3 日本人は授受表現をどのくらい使ったか

全体 (6文)	19.7%
あげ手も受け手も他人 (2文)	0%
あげ手が私、受け手が他人 (2文)	0%
あげ手が他人、受け手が私 (2文)	58.3%

表2、表3に示されたブラジル人と日本人の結果を比べると、下のようにまとめられる。

- 予想と違って、日本人は授受表現「～てあげる・～てくれる・～てもらう」をあまり使わず、ブラジル人の方がたくさん使った。
- ブラジル人も日本人も、受け手が「私」の時、授受表現「～てくれる」をたくさん使った。

さらに、興味深い発見としては、受け手とともに「～ために」をたくさん使った (32.5%)。例えば「私は山田さんのためにケーキを焼いた」というような文である。このように「～のために」を使ったブラジル人は3.6%だけだった。

#### 4.3 考察

上に述べた通り、予想と違って、ブラジル人よりも日本人の方が授受表現を使わなかった。しかし、これの問題点は、日本人は英語を日本語に翻訳したという方法が良くなかったかもしれない。英語には「～てあげる」のような表現は含まれていないので、日本人はその英語の文をそのまま直訳した可能性がある。そのため、日本人は授受表現をあまり使わなかったのかもかもしれない。

また、ブラジル人も日本人も、受け手が「私」の時、授受表現「～てくれる」をたくさん使った。この結果は、受け手が「私」の時、回答者はその「私」を自分自身だと解釈したからだという可能性がある。「私」、つまり自分自身が何かをしてもらったという文の場合、感謝の気持ちを強く実感したから、授受表現「～てくれる」をたくさん使ったのかもかもしれない。

そして、日本人は「～ために」という表現をたくさん使った。授受表現をあまり使わなかったという結果を併せて考えると、日本人は、感謝の気持ちを表すために、授受表現よりも「～ために」を使う傾向があるという可能性がある。

## 5. 調査2

### 5.1 調査方法

調査協力者は、ブラジル人日本語学習者が12人で、全員がパラナ連邦大学の大学生だった。これらのブラジル人日本語学習者は、調査1と同じく、日本語能力試験 (JLPT) の3級以上を持っているか、持っていないかでも2年以上の日本語学習経験がある学生であった。日本人の協力者は14人で、全員が三重大大学の大学生だった。また、ブラジル人も日本人も、調査1と調査2の協力者は全て別の学生であった。この調査2の調査目的は、調査1と同じで、ブラジルの日本語学習者は、授受表現「～てあげる・～てくれる・～てもらう」を日本人と同じように使えるかということだ。

調査方法も基本的には調査1と同じで、ブラジル人も日本人も「～てあげる・～てくれる・～てもらう」の授受表現を含むポルトガル語と英語の文を日本語に翻訳した。問題文は6つで、これらは6つの干渉文 (distractors) に混ぜて提示された。そして、6つの問題文のうち2文はあげ手も受け手も他人、また別の2文はあげ手が「私」で受け手が他人、そしてまた別の2文はあげ手が他人で受け手が「私」であった。

調査1と違う点は、問題文の中で、授受行動を含む文 (調査1と同じ文) の前に感謝の意味を強調する文脈を加えたという点である。例えば、下のような問題文が与えられた。

(9) *Hoje é o aniversário da Yamada-san. Eu assei um bolo para ela.*

授受表行動を含む文の前の文脈：

Hoje é o aniversário da Yamada-san (今日は山田さんの誕生日だ。)

授受行動を含む文：

Eu assei um bolo para ela. (= 8b)

文脈がない調査1と比べ、感謝の文脈がある調査2の場合、授受表現「～てあげる・～てくれる・～てもらおう」がたくさん使われると予想された。

## 5.2 結果

ブラジル人の結果を下の表に示す。ブラジル人の日本語翻訳文の中で、授受表現「～てあげる・～てくれる・～てもらおう」を使ったのは全体で46.5%だった。調査1が42.2%だったのに比べ、あまり変化はなかった。

表4 ブラジル人学習者は授受表現をどのくらい使ったか

全体 (6文)	46.5%
あげ手も受け手も他人 (2文)	40%
あげ手が私、受け手が他人 (2文)	13.3%
あげ手が他人、受け手が私 (2文)	56.7%

日本人の結果を下の表に示す。日本人の日本語翻訳部分の中で、授受表現を使ったのは全体で42.9%だった。

表5 日本人は授受表現をどのくらい使ったか

全体 (6文)	42.9%
あげ手も受け手も他人 (2文)	35.7%
あげ手が私、受け手が他人 (2文)	0%
あげ手が他人、受け手が私 (2文)	92.9%

表5にあるように、調査1に比べ、調査2では日本人が授受表現を多く使った。日本人は、行動が感謝の気持ちを反映していることを明確に示す文脈に続く場合、授受表現をたくさん使ったということである。そして、ブラジル人も日本人も、受け手が「私」の時、授受表現「～てくれる」をたくさん使った。これは調査1と同じ傾向である。また、ブラジル人に比べ(5.6%)、日本人は「～ために」をたくさん使った(35.7%)。これも調査1と同じ傾向である。

## 5.3 考察

調査2の結果は、大体調査1の結果と変わらなかったが、調査1と違ったのは、日本人は、調査2の方が授受表現を多く使った。これは、感謝の気持ちを反映している文脈がある場合、より多くの授受表現「～てあげる・～てくれる・～てもらおう」が使われるという予想の通りの結果である。

一方、ブラジル人の結果はあまり変わらず、感謝の気持ちを強調する文脈があっても、授受表現を使う割合はあまり変わらなかった。この結果は、ブラジル人は日本人よりも日本語能力が低いからであるかもしれない。つまり、二つの文からなる問題文 (*Hoje é o aniversário da Yamada-san.* と、*Eu assei um bolo para ela.*) を与えられても、ブラジル人は今読んでいる一つの文だけに集中して、二つの文の関係、文脈を考えなかったという可能性がある。

## 6. 調査3

### 6.1 調査方法

調査協力者は、21人のブラジル人日本語学習者で、アマゾンナス連邦大学とサンパウロ大学の大学生だった。調査3の目的は、授受表現「～てあげる・～てくれる・～てもらおう」をポルトガル語に翻訳する良い方法はあるかどうか、また、感謝の気持ちを表して翻訳する方法があるかどうか、ということだ。

調査方法は、ブラジル人日本語学習者が、授受表現を含む日本語文を、ポルトガル語に翻訳した。例えば下のような文である。

(10) 森さんが木下さんに晩御飯を料理してもらいました。

この文を普通にポルトガル語に訳すと、「Kinoshita-san cozinhou a janta para Mori-san. (木下さんが森さんに晩御飯を料理しました)」となる。この文には日本語の授受表現「～てあげる・～てくれる・～てもらおう」に相当するような表現は含まれていないし、感謝の気持ちを表す表現も含まれていない。ブラジル人が翻訳したポルトガル語の回答の中に、感謝の気持ちを表している良いポルトガル語への翻訳は見つかるかどうかを調べたのが、この調査3である。

## 6.2 結果

ブラジル人がどのように翻訳したかについて、結果を、特に感謝の気持ちが表れていない(10)のような普通の翻訳(AはBに～した)と、なんらかの方法で感謝の気持ちを表そうとした翻訳に分けて、表6に示す。表6にあるように、ブラジル人はほとんど感謝の気持ちが表れていない文に翻訳した。

表6 ブラジル人学習者はどのように翻訳したか

感謝の気持ちが表れていない文 (AはBに～した)	93.1%
感謝の気持ちを表そうとした文	6.9%

感謝の気持ちを表そうとした文は少なかったが、それらの文を具体的に説明する。まず、「～てもらおう」を翻訳する時に間接受受身形を使用した、下のような文である。

(11) 問題文：森さんが木下さんに晩御飯を料理してもらいました。

翻訳文：Mori-san teve a janta feita por Kinoshita-san. (森さんは木下さんに料理された晩御飯を食べた。)

これは、料理を食べたのは森さんであることを強調している。この文は、単純に「木下さんが森さんに晩御飯を料理した」と翻訳するよりも、受け手の森さんに焦点を当てた(表1参照)という点に工夫が見られる。

次に、「～てもらおう」を翻訳する時に「recebeu (受け取る)」というポルトガル語を使ったという回答があった。下の文である。

(12) 問題文：三木さんが小林さんにお金を貸してもらいました。

翻訳文：Miki recebeu dinheiro emprestado do(a) Kobayashi. (三木さんは小林さんに借りたお金を受け取った。)

これは、「recebeu (受け取る)」という単語を使うことで、受け手をはっきりさせ、焦点を当てている。

次に、「～てもらおう」を翻訳する時に「beneficio (利益)」というポルトガル語を使った下の文があった。

(13) 問題文：東さんが磯谷さんに窓を開けてもらいました。

翻訳文：Higashi teve a janela aberta em seu beneficio pelo(a) Isotani. (東さんの利益のために磯谷さんが窓を開けました。)

これも、「東さんの利益のために」と言うことによって、受け手をはっきりさせ、焦点を当てている。

## 6.3 考察

上に述べたように、少数のブラジル人日本語学種者は、与えられた日本語文に含まれる授受表現、そしてそこに含まれる感謝の意味を表せるように、工夫してポルトガル語に翻訳したことが分かる。この調査の目的は、協力者の回答の中から、日本語授受表現が含む意味をポルト

ガル語にうまく翻訳した翻訳文を見つけることであった。しかし、観察された翻訳文の問題点は、どれもポルトガル語として不自然な文だったということである。したがって、この調査3の結果としては、良い翻訳方法は見つからなかったということになった。

## 7. おわりに

本研究は、ブラジル人日本語学習者による、日本語授受表現の使用について調査した。特に、ポルトガル話者にとって習得が難しい「～てあげる・～てくれる・～てもらう」という授受表現について、ブラジル人学習者がこれらの表現をどのように使用するか、日本人と同じように使えるかについて調べた。さらに、ポルトガル語にはないこれらの表現を、その意味がうまく伝わるように翻訳する方法が見つかるかについても調査した。調査1の結果、授受行動を含む一つの文（単文）だけでは、ポルトガル語または英語から日本語へ翻訳する時、逆に日本人よりもブラジル人の方が授受表現を多く使うことが示された。また、調査2の結果、授受行動を含む文の前に感謝の意味を強調する文脈がある場合は、日本人は授受表現を比較的多く使ったのに対し、ブラジル人は変化がなかった。そして、調査1、調査2の両方で、日本人は授受表現よりも「(受け手)のために」と言う表現を使うことで感謝の意味を表す傾向があると示唆された。さらに調査3では、日本語の授受表現をうまくポルトガル語に翻訳する方法を見つけようとしたが、見つからなかった。

結果は予想とは全く異なったが、非常に興味深いものだった。まだ調べ足りないところが多くあると考えられるので、帰国後も継続して調査したい。具体的には、「～ために」の使い方と、授受表現との互換性について、今後調べたいと思う。

## 参考文献

- 9) Johnson, Keith. (2017). *An Introduction to Foreign Language Learning and Teaching* (3rd ed.). Routledge. <https://doi.org/10.4324/9781351213868>
- 10) Moeller, Aleidine Kramer, & Catalano, Theresa. (2015). *Foreign language teaching and learning*.
- 11) National Standards in Foreign Language Education Project (NSFLEP), 2014. *World Readiness Standards for Learning Languages (WRSLL)*. Alexandria, VA. Available at: <http://actfl.org/publications/all/world-readiness-standards-learninglanguages>.
- 12) Niwa, Yoshikazu. (2004). *Burajiru no nihongo kyōiku*. In: *Burajiru Nihon sengo imin no 50 nen*. São Paulo, Burajiru-Nippon Iminsha Kyokai.
- 13) Morales, Leiko Matsubara. (2008). *Cem anos de imigração japonesa no Brasil: o japonês como língua estrangeira*. Tese (Doutorado em Letras)–Faculdade de Filosofia, Letras e Ciências Humanas, Universidade de São Paulo, SP.
- 14) Morales, Leiko Matsubara. (2009). *Breve história do ensino de língua japonesa no Brasil - uma contribuição da Associação Brasileira de Estudos Japoneses*. Available at: <http://www.discovernikkei.org/pt/journal/2009/6/9/lingua-japonesa-no-brasil/>.
- 15) Morales, Leiko Matsubara (2011). *Revitalização linguística do japonês no Brasil*. *TRAVESSIA-revista do migrante*, (69), 31-46.
- 16) Yoshikawa, Mayumi Edna Iko. (2020). *O ensino de língua japonesa nas instituições de ensino do Brasil: a nova tendência verificada no perfil de professores e alunos*. *Estudos Japoneses em Foco: Singularidades e Trajetórias Contemporâneas*, 526-538.
- 17) Maebuchi, Tatiana. (2016). *O ensino atual da língua japonesa no Brasil*. *Discovernikkei.org*. Available at: <http://www.discovernikkei.org/pt/journal/2016/3/16/lingua-japonesa/>
- 18) Yamada, Hitoko. (1996). *On Japanese verbs of giving and receiving*. *Journal of Language and Literature*, 3, 103-119.
- 19) Mukai, Yuki & Suzuki, Tae (org.). (2017). *Gramática de Língua Japonesa para Falantes de Português*. Publisher Pontes, 3, 184-188.
- 20) 向井裕樹・松田真希子 (2020) 「複言語・複文化社会における日本語使用者のライティング –サンパウロとブラジリア在住の日系人を例にして–」『金沢大学国際機構紀要』2, 29-43.

### <要旨>

As expressões japonesas de dar (あげる, くれる) e receber (もらう) são um dos pontos mais difíceis para os aprendizes brasileiros de língua japonesa. Essas expressões incluem os eventos físicos de dar e receber, como o movimento real das coisas e a transferência de posses. No caso do português, estes verbos não se ligam a outros verbos como ocorre no japonês (てあげる, ~ てくれる, ~ てもらう) e exprimem um sentimento de gratidão maior do que o verbo fazer (する).

O primeiro objetivo da pesquisa foi descobrir se os aprendizes brasileiros de japonês podem usar as expressões de dar e receber da mesma forma que os japoneses as usam. O segundo objetivo da pesquisa foi: "Existe uma maneira de traduzir as expressões japonesas de dar e receber para o português para que possamos expressar nossos sentimentos de gratidão?".

Foram realizados 3 experimentos. No primeiro, alunos brasileiros traduziram frases do português para o japonês. Alunos japoneses traduziram do inglês para o japonês. 42.2% das respostas dos brasileiros haviam utilizado as expressões de dar e receber. Destas, 74.1% foram quanto quem faz a ação é o “outro”, e quem recebe a ação é “eu”. Quanto aos japoneses, apenas 19.7% utilizaram as expressões. Destes, 58.3% foram quando quem faz a ação é o “outro”, e quem recebe a ação é “eu”. Ao contrário do que se era esperado, a expressão por/para (ために) também foi utilizada tanto por brasileiros (3.6%) e japoneses (35.2%) para exprimir o sentimento de gratidão.

No segundo experimento, também foi pedido para que brasileiros e japoneses traduzissem frases para o japonês, mas desta vez, havia uma frase a mais que contextualizava a situação. O esperado era que as expressões de dar e receber fossem utilizadas com mais frequência dado um contexto. A resposta dos brasileiros não aumentou significativamente (46.5%) – destas, a maioria das frases que incluía tais expressões eram quando quem faz a ação é o “outro”, e quem recebe a ação é “eu” (56.7%). No caso dos japoneses, 42.9% utilizaram as expressões de dar e receber em suas traduções, sendo que 92.9% das respostas foi no caso de quem faz a ação é o “outro”, e quem recebe a ação é “eu”. 5.6% dos brasileiros e 35.7% dos japoneses usaram a expressão “ために”.

Apenas alunos brasileiros participaram do terceiro experimento. Foi pedido para traduzirem frases do japonês para o português, a fim de averiguar o segundo objetivo desta pesquisa. A grande maioria das respostas (93.1%) foi traduzida de modo que apenas o verbo principal foi utilizado, sem que houvesse qualquer expressão para indicar o sentimento de gratidão contido nas expressões de dar e receber. Alguns alunos utilizaram a forma passiva ou as palavras “recebeu” (受け取る) e “benefício” (利益), mas infelizmente, nenhuma delas soava natural em português.

三重大学国際交流センター日本語日本文化研修生プログラム

## 2021年度日本語日本文化研修生 研究成果最終発表会

2022年7月15日(金) 13:00~14:30 (CIER2 階視聴覚室)

1. バーチャルライバーの発展に関する研究  
—にじさんじを例として—  
……エン シンエツ(中国)
2. 日越翻訳における受動文の訳し方  
……チュオン ティ ミン トウ(ベトナム)
3. タイ人日本語学習者の謙譲語の習得  
……アドハン チッタブン(タイ)
4. ブラジル人学習者による日本語授受表現の使用  
……坂本 アマダ 明美(ブラジル)
5. 日本人学生とインドネシア人日本語学習者の日本語の  
「ガ・ケド」の使用実態  
……シャブリナ ヌルサフィア ファリッド

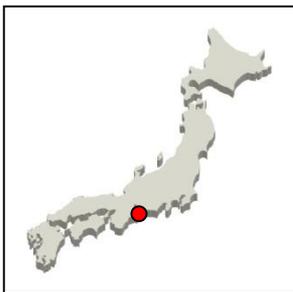
国際交流センター主催 連絡先 松岡 (chizkom@cie.mie-u.ac.jp)

最終発表会の様子



修了式の様子





# 三重大学 (三重県)



将来、日本や日本語に関係する研究や仕事を目指し、国際的に活躍する人を育てるためのコースです。

## ■大学紹介

### ①大学の特色及び概要

◆三重大学は総合大学で、人文学部、教育学部、医学部、工学部、生物資源学部の5学部があります。また、大学院は地域イノベーション学研究科を加えた6研究科があり、キャンパスは津市にあります。自然環境に恵まれ、キャンパスのすぐ東側には海岸の波が打ち寄せ、北西には鈴鹿の山が連なります。

#### ◆学生数・教員数

学部学生数：5,960名

大学院生数：1,084名

教員数：760名

外国人留学生数：204名 (30カ国)

<2020年5月1日現在>

#### ◆環境先進大学

本学は国際規格であるISO 14001の認証を受けて様々な環境マネジメントシステムを構築しています。

### ②国際交流の実績

◆三重大学は、外国の121大学・機関と、大学間または学部間の学術交流協定を結んでいます。これらの大学とは、教員・学生の交流、学術情報の交換などを行っています。

<2020年4月1日現在>

### ③過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

	留学生	日研生
2020年度	204名	4名
2019年度	291名	4名
2018年度	298名	4名



伊勢神宮 内宮



鈴鹿サーキット



伊賀上野城



三重大学国際交流センター

### ④地域の特徴

◆津市は、三重県の県庁所在地です。人口は約28万人、温暖な気候で暮らしやすいところです。交通も便利で、大阪へのアクセスは約1時間半、京都へは約2時間、東京へも約3時間です。

◆三重県は、歴史や文学・国学の豊かなところです。すでに8世紀には『万葉集』の詩歌にうたわれ、多くの小説の舞台となりました。三島由紀夫が小説『潮騒』に描いた神島も、ここ三重県にあります。俳句を詠んだ松尾芭蕉は現在の三重県の地に生まれ、「文学の神様」と呼ばれる横光利一も中学時代を三重県で過ごしました。

◆県内には多くの史跡や名勝があり、観光客もたくさん訪れます。伊勢神宮を中心とした歴史的建造物、古い宿場町や歴史街道も残っています。また、熊野古道は、2004年7月に世界遺産に登録されました。

◆県内にある鈴鹿サーキットは、「日本のモータースポーツの聖地」と言われてきました。F1日本グランプリが開かれることにより、世界各国から多くのファンが集まります。

◆三重大学国際交流センターは、三重大学における国際交流の要として、本学の国際的な教育研究の充実、及び地域の国際化に寄与することを目的とし、様々な国際的な活動の企画・推進を行っています。

## ■研修・コースの概要

### ① 研修・コースの目的

a)主に日本事情・日本文化に関する研修

### ② コースの特色

◆将来、日本や日本語に関係する研究や仕事を目指している人のためのコースです。

◆地域住民及び三重大学生、在日外国人や留学生との相互交流を通して、日本文化や異文化への理解を深めることができます。

◆それぞれの指導教員の下、各自が設定したテーマや、基礎的な研究や報告書の書き方について学ぶことができます。

### ③ 受入定員

5名（大使館推薦1名、大学推薦4名）

### ④ 受講希望者の資格、条件等

次の(1)と(2)の両方の条件を満たすこと。

(1) 本国の4年制大学において、日本語・日本語教育・日本文化関係を専攻している人（2年生以上）。

(2) 日本語能力試験N2以上か、それに相当する日本語力がある人（語彙を約4,000～6,000語、漢字を約600～800字以上、既に習得している人）。

### ⑤ 達成目標

日本語・日本文化研究を通して、母国と日本のかけはしとなる学生の育成。

### ⑥ 研修期間（在籍期間）

2021年9月下旬～2022年8月下旬  
 (2021年10月1日～2022年8月31日)  
 修了式は8月31日までに開催予定

### ⑦ 奨学金支給期間

2021年10月～2022年8月

### ⑧ 研修・年間スケジュール

#### ◆秋学期（後期）

9月下旬 渡日／オリエンテーション  
日本語レベル判定試験

10月 ウェルカムパーティ  
授業開始

11月 大学祭  
12月 研修旅行  
国際交流ディズ

2月 期末テスト  
中間発表会

#### ◆春学期（前期）

4月 授業開始  
7月 最終発表会  
8月 盆踊り大会  
研修レポート提出  
修了式／帰国



### ⑨ コースの修了要件

日本語日本文化演習AB及び各レベルの必修科目及び選択科目から、各学期合計7科目以上受講し、また日本語による研修レポートの執筆と研修発表（中間発表会・最終発表会）をします。成績判定は、教員による成績会議で総合的に判断されます。コース修了が認められた学生には、成績証明書および修了証書を発行します。

### ⑩ 研修・コース科目の概要・特色

#### 1) 研修・コース科目の特徴

◆日本語や日本文化、または三重県に関するテーマを決めて、担当教員の指導のもと研究または実践活動を進めます。

2月初旬：中間発表会  
 7月中旬：最終発表会  
 8月末：研修レポート提出〆切



◆コースに入りしだい、日本語レベル判定試験を受けます。その結果により中級Ⅱレベルと上級レベルに分かれます。自分のレベルに合わせて、中級後半から上級レベルの日本語を集中的に学習します。

### 2) 研修・コース開設科目（全て90分×16回／学期）

#### I) 必修科目

#### ◆中級Ⅱ

授業名 (単位数)	主な目標
(1) 文法・読解 (1単位)	中・上級レベルの表現文型を体系的に学び、運用する力を身につける。
(2) 読解・作文 (1単位)	大学の専門分野の学習への橋渡しとして、高度な文章を総合的に読解できる力をつける。
(3) 聴解・会話 (1単位)	映画・アニメーション・ドラマ等の視聴を通して、生の日本語を聞き取り、意見交換を通して聴解・会話力を高める。
(4) 日本語・ 日本文化演習 (1単位)	自分の専門分野に関する研究を進め、研修レポートを書くための指導を受ける。
(5) 日本事情 I：三重の社会 と文化（2単位）	日本と三重県の社会文化環境を学外研修などを通して、楽しみながら理解する。

#### ◆上級

授業名 (単位数)	主な目標
(6) 上級総合日本語 I（1単位）	学術的な小論文の書き方の基礎を学ぶ。また、実際に小論文を書く。
(7) 上級総合日本語 II：留学生と学ぶ日本（1単位）	三重大学生とのディスカッションを通して、日本社会・文化への理解を深めたり、自分の意見を発表したりする。
(8) 日本語・日本文化演習（1単位）	自分の専門分野に関する研究を進め、研修レポートを書くための指導を受ける。
(5と同じ) 日本事情 I：三重の社会と文化（2単位）	日本と三重県の社会文化環境を学外研修などを通して、楽しみながら理解する。

## Ⅱ) 選択科目

### ●日本語による科目

(9) 上級へのステップアップ (1単位)

(10) 日本事情Ⅱ：メディアと日本(後期) (2単位)

### ●英語による科目

(11) 日本学：メディアと日本(前期) (2単位)

(12) 世界遺産と私たち (2単位)

(13) 環境問題と地球 (2単位)

(14) 英語でエッセイ (2単位)

(15) 日本文化紹介 (2単位)

◆上級レベルの人は中級Ⅱの授業科目を、中級Ⅱレベルの人は中級Ⅰの授業科目を選択科目として受講することもできます。

◆上記の国際交流センターの科目のほかに、他学部の科目を選択し、受講することもできます。

### 3) 見学、地域交流等の参加型科目

必修科目の、日本事情Ⅰ：三重の社会と文化(= (5))では、三重県のような場所を訪問して地域の文化や産業などについて学びます。

### 4) 日本人学生との共修の機会

必修・選択科目のうち、以下の科目では日本人学生と共に学ぶことができます。

### ●日本語による科目

上級総合日本語Ⅱ：留学生と学ぶ日本(= (7))

日本事情Ⅱ：メディアと日本(後期)(= (10))

### ●英語による科目

日本学：メディアと日本(前期)(= (11))

世界遺産と私たち(= (12))

環境問題と地球(= (13))

英語でエッセイ(= (14))

日本文化紹介(= (15))

### ⑪ 指導体制

◆福岡昌子教授(専門：音声・第二言語習得)

◆松岡知津子准教授(専門：文法)

◆栗田聡子准教授(専門：メディア心理学)

◆正路真一助教(専門：心理言語学・第二言語習得)

## ■宿 舎

三重大学には現在留学生用の宿舎が3つあります。「外国人留学生寄宿舍」は、留学生と日本人学生が部屋をシェアして共同生活し、異文化交流を通してグローバルな視点を持てる場となっています。

①外国人留学生会館(1988年建設)

月額 6,900円～14,000円

②外国人留学生寄宿舍(2009/15年建設)

月額 7,500円～30,000円

③国際女子学生寄宿舍(1973年建設) 月額 5,900円



上(左) 外国人留学生寄宿舍外観

(右) 同 共用キッチン

下(左) 同 シェアルームのダイニング

(右) 国際女子学生寄宿舍居室

## ■修了生へのフォローアップ

修了生と在校生の交流を目的に、12月の国際交流デイズでイベントを開く予定です。

## ■その他の学習支援体制

### ◆日本語チューター

三重大学生が留学生の日本語の向上や日本文化への理解を深める機会を与えます。日常生活のサポートもします。

### ◆てらこやサークル

三重大学生による日本語学習のボランティアサークルです。一緒に会話の練習をしたり、日本語の宿題をみてもらうことができます。

## ■ホストファミリー・プログラム

希望する留学生は「セカンド・ホーム」というプログラムに登録し、週末や休日を一緒に楽しく過ごすためのホスト・ファミリーを持つことができます。約30年の歴史を持つ市民交流プログラムです。



三重大学上浜キャンパス

シロモチくん  
(津市PRキャラクター)

## ■問合せ先

<担当部署>

三重大学学術情報部国際交流チーム

住所： 〒514-8507

三重県津市栗真町屋町1577

TEL： +81-59-231-9688 (直通)

FAX： +81-59-231-5692

Email： ryugaku@ab.mie-u.ac.jp

<ウェブサイト>

三重大学国際交流センター：

<http://www.mie-u.ac.jp/international/index.html>

三重大学：

<http://www.mie-u.ac.jp/>

## ✿ 編集後記 ✿

『日本語・日本文化研修留学生 研究レポート集 XIX』をお届けします。今年度三重大学国際交流センターが受け入れた日本語・日本文化研修留学生（第19期生日研究生）は、大学推薦による国費外国人留学生4名と大使館推薦による国費外国人留学生1名の合計5名で、中国、ベトナム、タイ、インドネシア、ブラジルから各1名ずつを迎えることができました。

日研究生たちは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により渡日が遅れましたが、三重大学に在籍した2021年10月から2022年8月にかけて、三重大学国際交流センターが開講する日本語および日本事情の授業をオンラインや対面で履修し、日本語能力等を磨くとともに、各自指導教員の指導を受けながら研究レポートの作成に取り組んできました。

コロナ禍の影響により、研究成果中間発表はオンラインとなりましたが、研究成果最終発表会は対面で行うことができました。また、帰国直前にはみんなで熊野に研修旅行に行くことができ、とてもよい思い出作りができました。

こうして、5名の日研究生たちが、指導教員および発表会の出席者から受けた提案やアドバイスをもとに何度も書き直し書き上げたものが、本レポート集にまとめられました。

最後になりましたが、2021年度日本語・日本文化研修プログラムの運営には、例年と同じく多くの皆様にご協力をいただきました。あたたかいご指導を賜りました先生方、ならびに職員、関係者の皆様に心より御礼を申し上げます。

2022年9月

日本語・日本文化研修コース

コーディネーター 松岡 知津子